ケンコー
デジタルムービーカメラ
DVS900FHD
取扱説明書

このたびはフルハイビジョンデジタルムービーカメラ「DVS900FHD」をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。
また、取扱説明書は必ず大切に保管しておいてください。

目次

はじめに 04

安全上のご注意 05

カメラの紹介 07

セット内容……07
各部の名称……08
ボタンの機能を紹介します……09

ご使用の前に 11

充電池の充電……11
充電池の取り付け……12
リチウムイオン充電池に関する安全上の注意……13
電源のオン/オフ……14
ストラップ……14
液晶モニターを使用する……15
液晶モニターのタッチ機能……16
SD/SDHCメモリーカードを使用する場合……17
SD/SDHCメモリーカードを取り付ける……17
SD/SDHCメモリーカードを使用する前に……18
ファイル名/ディレクトリ名を変更しない……18
メモリーのフォーマット……19
LEDランプ表示……20
モードの変更……20
日付/時刻の設定……21
言語の設定……22

動画モード 23

動画の撮影……23
動画モードの操作画面……24
ズーム撮影……25
撮影距離……26
マニュアルフォーカスを選択した場合……27
固定を選択した場合……27
露出補正……28
露出補正……28
液晶モニターをタッチして露出補正をする場合……28
マルチ選択ボタンで露出補正をする場合……28

動画再生モード 29

動画の再生……29
動画再生モードの操作画面……30

静止画モード 31

静止画の撮影……31
静止画モードの操作画面……32
内蔵フラッシュの使用……33
セルフタイマー……34

静止画再生モード 35

静止画の再生……35
静止画のタッチスライド……36
静止画の回転……36
静止画再生モードの操作画面……37

音声メモモード 38

音声メモモード……38
音声メモの録音……38
音声メモモードの操作画面……39

音声メモ再生モード 40

音声メモの再生……40
音声メモ再生モードの操作画面……41

機能設定 42

動画メニュー……42
画質……42
動画サイズ……43
プレ録画……44
定点撮影……45
デュアルストリーム……46
顔認識……47
シーンモード……48
ホワイトバランス……49
色効果……50
測光方式……51
逆光補正……52
コントラスト……53
シャープネス……54
動体検出……55

目次

動画再生メニュー……56
ファイル保護……56
「1ファイル保護」を選択した場合……57
「全て保護」を選択した場合……57
「1ファイル保護解除」を選択した場合……58
「全て保護解除」を選択した場合……58
再生方法……59
「1ファイル再生」を選択した場合……59
「全ファイル再生」を選択した場合……59
「1ファイル・リピート」を選択した場合……60
「全ファイル・リピート」を選択した場合……60
削除……61
「1ファイル削除」を選択した場合……61
「全て削除」を選択した場合……62
「選択削除」を選択した場合……62
静止画メニュー……63
静止画サイズ……64
撮影モード……65
プレビュー……66
ISO感度……68
静止画再生メニュー……70
スライドショー……71
スライド方法……72
DPOF……73
「1枚DPOF」を選択した場合……74
「全てDPOF」を選択した場合……74
「1枚DPOF解除」を選択した場合……75
「全てDPOF解除」を選択した場合……75
回転……76
音声メモ再生メニュー……77

基本設定 78

基本設定メニュー……78
TV方式……78
ファイル番号……79
初期設定……80
液晶輝度……81
日付プリント……82
自動電源オフ……83
電源周波数……84
モニター表示……85
ビープ音……86
タッチパネルの校正……87
起動画面……88

静止画のプリント 89

静止画のプリント……89

テレビとの接続 90

標準テレビとの接続……90
ハイビジョンテレビとの接続……91

パソコンとの接続 92

カメラとパソコンの接続……92
パソコンに接続する……92
転送時のご注意……93
動画データの保存・再生……93

付属のソフトウェア 94

付属のソフトウェアの説明……94
ArcSoft Total Media Extreme……94
PDF Reader……94
User Manual……94
ArcSoft Total Media Extremeをインストール……95
Total Media Extremeの使用方法……97
動画を再生する場合……97
動画ファイルを編集する場合……97
PDF Readerをインストール……98
User Manualをインストール……99

トラブルシューティング 100

カメラ操作時のトラブル……100

仕様 101

記録可能時間/枚数の目安……101
仕様……102
パソコンの動作環境……103

保証規定 106

保証書 107

はじめに

このたびは、フルハイビジョンデジタルムービーカメラ「DVS900FHD」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

ご使用前にお読みください。

■結婚式や旅行など大切な撮影の前には必ず事前にテスト撮影を行ってください。

■著作権や肖像権などにお気をつけください。撮影を制限されている場所もありますのでお気をつけください。
また、プライバシーを侵害するような撮影は行わないでください。

■本製品の故障およびその他の理由により生じた画像データの破損、消失による利益損失、損害などに関し、
当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■本製品の使用および故障により生じた直接、間接の損害に関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。

■本取扱説明書の図、写真、パソコンディスプレイの画面などは説明のために作成したものです。一部実際とは異なります。

■本製品に付属しているソフトウェアを営利目的として無断でコピーしたり配布することは禁止されています。

■本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複写することは、個人で楽しまれる場合を除き禁止されています。

■製品改良のため予告なく外観、仕様などを変更することがあります。

■本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。

■カメラを長時間使用するとカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。

■液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高精度な技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯があります。
使用部品メーカの保証値となりますので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意　必ずお読みください。

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、正しくお使いください。

本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示で説明しています。

⚠危 険	⚠警 告	⚠注 意
この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う切迫した危険の発生が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性または、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

⚠ 危 険

■可燃性ガス、爆発性ガスなどが、大気中に存在する恐れのある場所での本製品の使用はおやめください。引火･爆発の原因となります。

■本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの加工および、火中投入などは行わないでください。発熱、発火、破裂の危険があります。

■本製品を高温の場所（真夏の車内、窓辺、暖房器具のそばなど）で使用、保管しないでください。

⚠ 警 告

■本製品で太陽または強い光源を見ることは絶対にしないでください。失明など永久視力障害の原因となります。

■目に深刻な損傷を与える恐れがありますので、近距離（1メートル以内）で 内蔵フラッシュを発光させないでください。

■本製品を歩行中、または運転中に絶対使用しないでください。交通事故の原因となります。

■本製品を足場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。

■本製品は防水構造ではありません。水をかけたり、濡らしたりしないでください。製品内部に水が入ると火災や感電、故障の原因となります。

■カメラに何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。

■感電の恐れがありますので、濡れた手でカメラを触らないでください。

■カメラの分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご依頼ください。

■本製品を室外で使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。事故の原因になります。

安全上のご注意　必ずお読みください。

⚠ 警 告

■小さな付属品を飲み込む恐れがありますので、お子様やペットの手の届く範囲にカメラを放置しないでください。

■ケーブルやストラップが首に巻き付くと窒息の危険があります。お子様の手の届かないところに保管してください。

■ポリ袋（包装用）などを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。口にあてて窒息の原因になることがあります。

⚠ 注 意

■本製品は精密な電子機器です。以下のような場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。

●砂、ほこり、ちりの多い場所　●火の近く　●湿ったところ　●振動の激しい場所　●温度・湿度の変化が激しい場所

■車内は、温度変化が激しく高温あるいは低温になり振動もありますので、使用および保管は避けてください。

■カメラを落としたりぶつけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。

■レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。集光により内部の部品が破損し、火災などの原因となります。

■電極部分などには一切触れないでください。感電や故障の原因になります。

■本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因になります。

■本製品に付属のケーブルを接続するとき、無理矢理入れたり外したりしないでください。故障の原因になります。

■付属のCD-ROMはパソコン専用のソフトです。音楽用CDプレイヤーで再生することはしないでください。聴覚障害を引き起こす恐れがあります。

■ストラップを持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。

その他のご注意

■電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、本製品を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。低温により性能が低下した電池は、常温に戻ると性能は回復します。

■撮影条件、使用環境および電池により撮影枚数が減少する場合があります。

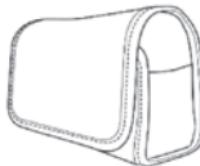
■本製品のレンズや液晶モニターが汚れたとき、市販のクリーニング布で拭き取ってください。汚れたままですと、鮮明な写真を撮影することができません。

■ラジオやテレビのお近くでお使いになると、受信障害を引き起こすことがあります。

カメラの紹介

セット内容

パッケージに、次の品目が同梱されていることを確認してください。
足りない品目や破損している品目がある場合、ただちに販売店に連絡してください。

カメラ本体
（ハンドストラップ取付済）

ポーチ

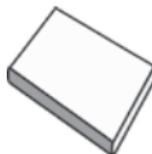
取扱説明書（本書）

レンズキャップ

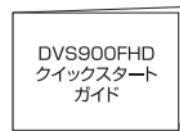
USB-PC接続ケーブル

HDMI接続ケーブル

テレビ接続ケーブル

CD-ROM
（パソコンのソフトウェアが入っています）

リチウムイオン充電池

ACアダプター

DVS900FHD
クイックスタート
ガイド

クイックスタートガイド

カメラの紹介

各部の名称

前面

レンズ
セルフタイマー表示灯
内蔵フラッシュ

上面

シャッターボタン
スピーカー
ズームボタン

底面

三脚取り付けネジ穴
電池/SDカード室カバー

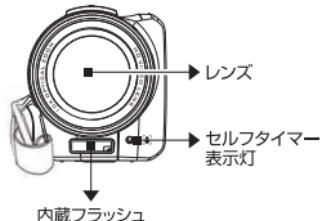
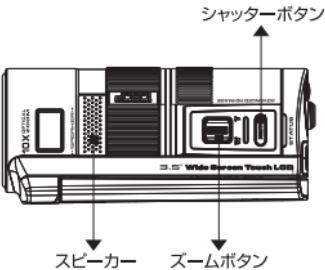
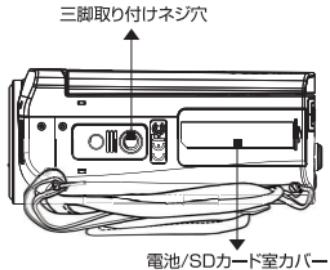
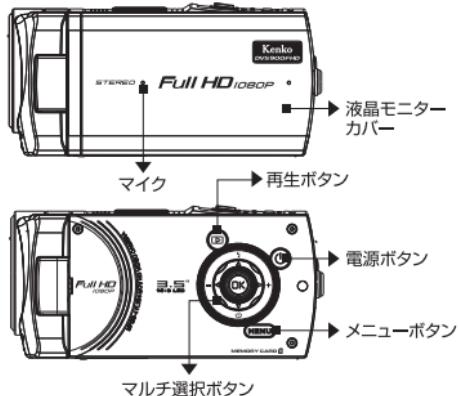
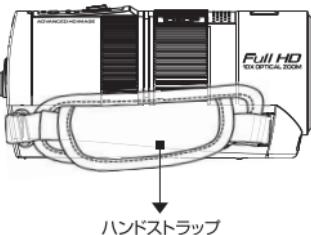
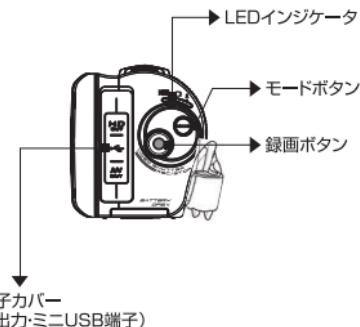
左側面

液晶モニターカバー
マイク
再生ボタン
電源ボタン
メニューボタン
マルチ選択ボタン

右側面

ハンドストラップ

後面

LEDインジケータ
モードボタン
録画ボタン
端子カバー
（HD出力･AV出力･ミニUSB端子）

カメラの紹介

ボタンの機能を紹介します

ボタン	名　称	機　能
上 左　右 下	マルチ選択ボタン	上ボタン　：各項目・設定時に上へ移動します。 静止画撮影時、LEDフラッシュのモードを切り替えをします。 下ボタン　：各項目・設定時に下へ移動します。 静止画撮影時、セルフタイマーを設定します。 左ボタン　：各項目・設定時に左へ移動します。 動画･静止画撮影時、露出補正値の変更をします。 右ボタン　：各項目・設定時に右へ移動します。 動画･静止画撮影時、露出補正値の変更をします。 OKボタン：設定モード時に項目を選択します。
	電源ボタン	電源をオン/オフします。
	再生ボタン	再生モードにします。再度押すと撮影画面に戻ります。

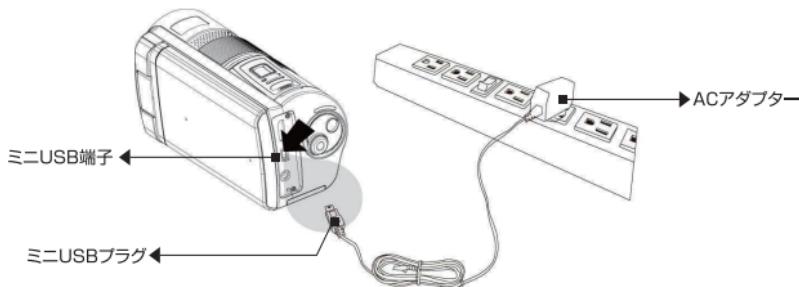
カメラの紹介

ボタン	名　称	機　能
	モードボタン	モードを動画・静止画・音声メモに切り替えます。
	録画ボタン	動画モードでボタンを押すと動画を撮影します。再度押すと録画を停止します。
	シャッターボタン	静止画モードでボタンを押すと静止画を撮影します。
	ズームボタン	動画・静止画撮影時に T側に押すとズームイン(拡大)、W側に押すとズームアウト(縮少)します。 動画・音声メモ再生時にT側に押すと音量が大きくなります。 W側に押すと音量が小さくなります。
	再生ボタン	再生モードにします。再度押すと撮影画面に戻ります。

充電池の充電

充電池の充電は、付属のACアダプターを使用して行います。

カメラに充電池を取り付けます。P.12「充電池の取り付け」をご覧ください。
図のように端子カバーを開いて、ACアダプターのミニUSBプラグをカメラのミニUSB端子に接続し、ACアダプターをコンセントに接続します。

カメラのLEDインジケーターが緑色に点灯し、充電が行われます。充電が完了すると消灯します。

◆ 電池残量については、液晶画面上のバッテリーアイコンに表示されます。

- 電池の残量は充分です。
- 電池の残量は半分以上あります。
- 電池残量が少なくなりました。充電の準備をしてください。
- 充電してください。

◆ 電池をカメラの中に入れたまま長期間カメラを使用しないと、電池が消耗します。カメラを長時間（およそ1ヶ月以上）使用しないときは電池を取り出してください。

◆ 付属のUSB-PC接続ケーブルでカメラとコンピューターに接続することで、充電池の充電をすることができます。
カメラの電源がオフの時にコンピューターに接続すると充電がはじまります。充電が開始されるとLEDインジケータが緑色に点灯します。
充電が完了するとLEDインジケータが消灯します。カメラの電源がオンの時にコンピューターに接続すると、USB-PCモードになります。

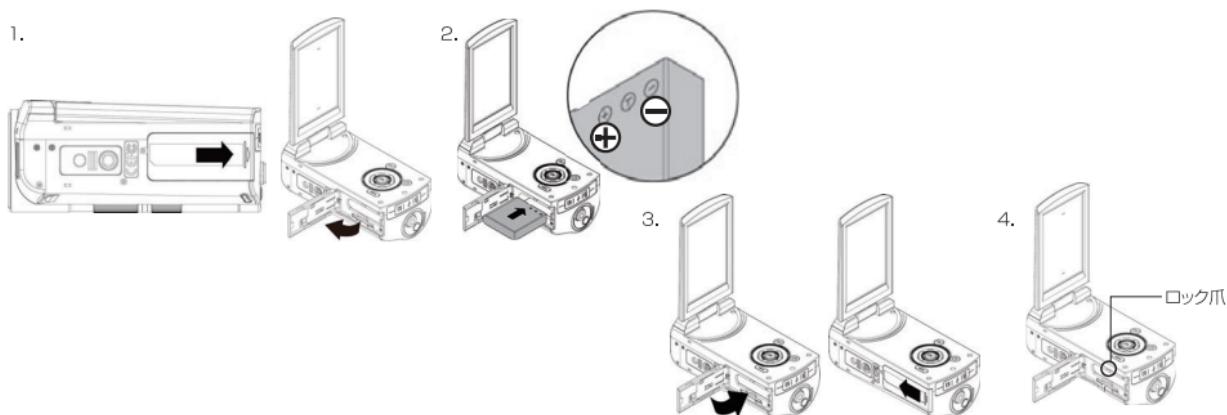
◆ 電池は気温0℃以下または40℃以上では正常に動作しない場合があります。
カメラを長時間使用すると電池およびカメラの本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。

◆ 電池は充電されておりません。はじめてご使用になる時は、フル充電をしてからお使いください。

充電池の取り付け

カメラに付属のリチウムイオン充電池をセットします。

カメラに付属している充電池、またはメーカや販売店が推奨する充電池以外は使用しないでください。
電池の取り付けは、ここに示す方法で行ってください。電池の取り付け方法が正しくないと、カメラが破損したり、火災の原因になることもあります。

1. カメラ底面の電池／SDカード室カバーを▷の方向にスライドさせてカバーを開きます。
2. 図を参考に⊕⊖方向を確認して、リチウムイオン充電池をセットします。
3. 電池／SDカード室カバーを閉じ、▷反対方向にスライドして完全に閉じます。
4. 充電池を取り外す場合は、ロック爪をSDカードスロットと反対側へ押すと充電池が少し飛び出します。

● 電池をカメラ本体から着脱する場合は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
● 電池は⊕⊖方向に注意し、接点が奥になるように正しくセットしてください。

アルカリ乾電池に関する安全上の注意（対象:アルカリ乾電池使用カメラ）

⚠ 警 告　付属のアルカリ乾電池をご使用の前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

①ショート、分解、加熱、充電（＋）、（－）の逆方向のセットをしないでください。使用済みの電池を火に入れるなどしないでください。
また、新しい乾電池と使用した乾電池を混用で使用しないでください。使い切った乾電池はすぐにカメラから取り出してください。

②カメラは電源が切れていても微弱電流が流れています。長期間（使用方法はおよそ1ヶ月以上）カメラを使用しない場合は、乾電池を取り外して保管してください。

③乾電池は乳幼児の手の届かない所に置き、乾電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。乾電池のアルカリ液がもれて、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断･治療を受けてください。

④同梱品の乾電池はサンプルです。使用可能時間が一般的な乾電池に比べて短い場合があります。

⑤使用済みの乾電池は、お住まいの自治体が定めた方法で処分してください。

リチウムイオン充電池に関する安全上の注意（対象:リチウムイオン充電池使用カメラ）

⚠ 警 告　付属のリチウムイオン充電池をご使用の前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

①初回使用時はフル充電してください。付属の充電器（ACアダプター）以外で充電しないでください。

②ショート、分解、加熱、充電（＋）、（－）の逆方向のセットはしないでください。

③液漏れ等の異常が発見された場合、ただちに使用を中止してカメラから取り外し、お買い上げ先等にお申し出ください。
電解液が、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断･治療を受けてください。

④リチウムイオン充電池をカメラから取り出して保管･持ち運びの場合、安全のためビニール袋･プラスチックケース等に入れてください。

⑤リサイクルのお願い

Li-ion　不要になった電池は貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

〈最寄りのリサイクル協力店へ〉
詳細は、社団法人 電池工業会ホームページをご参照ください。
･ ホームページ http://www.baj.or.jp/

● 使用済み充電式電池の取扱注意事項
－ プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
－ 皮覆をはがさないでください。
－ 分解しないでください。

電源のオン／オフ

液晶モニターカバーを開くと電源がオンになります。

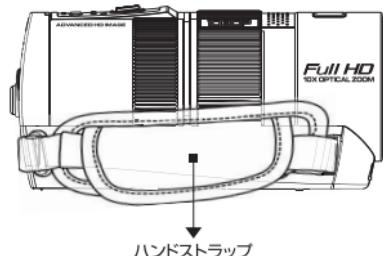
電源ボタンを約1秒押すと電源がオフになります。

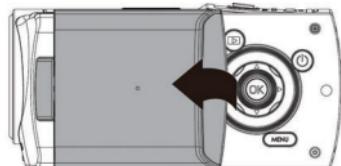
再度電源ボタンを押すと電源がオンになります。

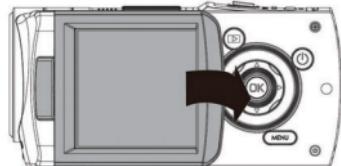
!

● 液晶モニターカバーを閉じても電源はオフになりません。電池の消耗にご注意ください。

ストラップ

カメラには予めハンドストラップが装着されています。

液晶モニターを使用する

動画･静止画撮影時、ファイルの再生時に液晶モニターの位値を調整します。
図を参考に矢印の方向に調整してください。

液晶モニターカバーを横方向に開きます。

液晶モニターの角度を調節します。
液晶モニターは被写体側に向けることもできます。
被写体側に向けた場合、画像は自動的に上下反転します。

液晶モニター面を上にして畳むこともできます。

◆ 液晶モニターを無理に廻さないでください。破損する場合があります。

液晶モニターのタッチ機能

液晶モニターをタッチすると一部の設定が行えます。下記は動画モードでのサンプルです。

モード切り替が行えます。

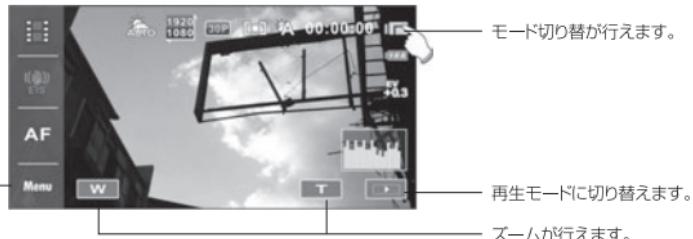
メニューモードへ切替えが行えます。

再生モードに切り替えます。

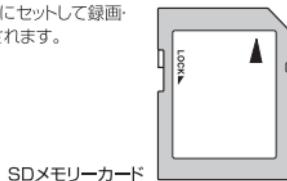
ズームが行えます。

動画サイズの設定が行えます。

手ぶれ防止機能の設定(オン／オフ)が行えます。

AF機能の設定が行えます。

ご使用の前に

SD/SDHCメモリーカード(別売)を使用する場合

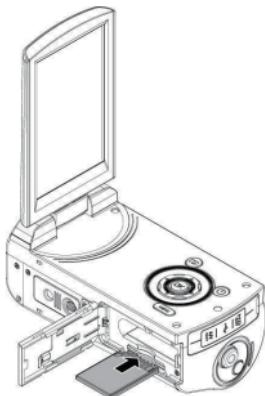
SDメモリーカード(別売)をカメラ底面のSDメモリーカードスロットにセットして録画･撮影すると、録画･撮影した画像は自動的にSDメモリーカードに記録されます。

SDメモリーカード

- ●このカメラに使用できるメモリーカードの仕様は、SDメモリーカード32MB～2GB、SDHCメモリーカード32GBまでです。その他の種類のカードを使用しますと、製品及びカードが故障する可能性があります。
- ●SDメモリーカードは@(クラス)6以上を推奨します。
- ●内蔵メモリーのユーザ使用可能領域はありません。

SD/SDHCメモリーカードを取り付ける

SDメモリーカードはカメラ底面のSDメモリーカードスロットにセットします。

1. 電池／SDカード室カバーを開けます。P.12「充電池の取り付け」をご覧ください。
2. SDメモリーカードの接触面が上になるようにして、SDメモリーカードスロットにカチッと音がするまで押し込みます。
3. SDメモリーカードを取り外す時は、SDメモリーカードがカチッと音がするまで軽く押し込みます。
   SDメモリーカードが少し飛び出ます。

◆新しいSDメモリーカードを使用される際は、あらかじめSDメモリーカードの初期化(P.19参照)をしてください。
◆撮影した画像に付けられるファイル名の番号(FILE XXXX)は、SDメモリーカード内の画像を消去しても、連続してカウントされます。
番号をリセットする場合は、カメラのフォーマット機能(P.19参照)でSDメモリーカードを初期化してください。

- ●差し込みにくい時は、挿入する方向が間違っている可能性があります。無理に挿入しないでください。
- ●SDメモリーカードをカメラ本体から着脱する場合は、必ずカメラの電源をオフにした状態で行ってください。
- ●すべてのSDメモリーカードで動作を保証するものではありません。
- ●他のカメラ等のファイルが保存されているSDカードをセットすると、誤作動する場合があります。

SD/SDHCメモリーカードを使用する前に

◆新しいSDメモリーカードは使用前に本製品でフォーマット(初期化)してください。

◆SDメモリーカードをセットすると、カメラはSDメモリーカードを認識し、内蔵メモリーを認識しません。

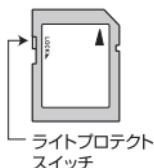
◆この他にも、取り扱いに関する注意事項がP.4～6に記載されていますので必ずよくお読みください。

●パソコンに接続、データ転送中や、撮影／再生中にSDメモリーカードを引き抜かない
パソコンとカメラを接続し、撮影したデータをパソコンに転送している最中や、撮影中または再生中にSDメモリーカードをカメラから引き抜かないでください。撮影した画像データ、SDメモリーカードおよびカメラ本体が破損する恐れがあります。

●SDメモリーカードのフォーマット(初期化)はカメラで
本製品にはSDメモリーカードをフォーマット(初期化)する機能がついています。
フォーマットは必ず本製品で行ってください。フォーマットすると既に記録されている画像データは全て消去されますのでご注意ください。

●ライトプロテクトスイッチについて
SDメモリーカードにはライトプロテクトスイッチ機能がついています。下にスライドすると、SDメモリーカードはロックされ、SDメモリーカードへの記録／消去が禁止され、保存されている画像などのデータが保護されます。記録／消去する場合はロックを解除してください。

◆下記の注意事項をよくお読みになり、正しい取り扱いを行ってください。

ライトプロテクトスイッチ

ファイル名／ディレクトリ名を変更しない

パソコンでSDメモリーカードに保存されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更したり、カメラで記録された画像データ以外のファイルを書き込まないでください。カメラで認識できなくなり、機能に障害がでる恐れがあります。

●SDメモリーカードは精密機器ですので、無理な力を加えたり、乱暴に扱わないでください。また、SDメモリーカードが静電気を帯びていると、うまく認識されなかったり、カメラの誤作動など障害が起こる恐れがあります。

●SDメモリーカードを使用中、誤作動や故障により記録内容が失われることがあります。記録されたデータの破損、消失につきましては、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

●SDメモリーカードに異常があると思われる場合は、フォーマットすることで正常に動作する場合があります。その際は、本製品のフォーマット機能をお試しください。(フォーマットすると、記録されている画像データは全て消失されますので、あらかじめご了承の上、フォーマットを行ってください。必要に応じてデータをパソコンやCDにコピーしてからフォーマットしてください。)

●電極部(金色の金属部分)が汚れてしまった場合は、乾いた清潔な布などで汚れを軽く拭き取ってください。

メモリーのフォーマット

メモリーをフォーマット(初期化)する機能です。

- SDメモリーカードをこのカメラで使用する前には、必ずフォーマットを行ってください。
- フォーマットを行うとSDメモリーカードに記録された全てのデータが消去され、初期化されますのでご注意ください。
- SDメモリーカードのフォーマットは、必ず本製品のフォーマット機能で行ってください。(パソコン上でフォーマットした場合、動作保証できません。)
- 保護設定を行ったファイルでも、フォーマットを実行すると消去されてしまいます。
- フォーマットする前に必要に応じてファイルをパソコンやCDにコピーしてください。
- SDメモリーカードのライトプロテクトスイッチ(P.18参照)でロックしている場合、フォーマットは行われません。

1. カメラの電源をオンにします。
2. MENUボタンを押すか、「Menu 」アイコンをタッチします。
3. マルチ選択ボタンを上または下に押すか、「 基本設定」アイコンをタッチして、「基本設定モード」にします。
4. マルチ選択ボタンの右または左ボタンを押して「フォーマット」を選択し、OKボタンを押すか、「 フォーマット」アイコンをタッチして「フォーマット」を選択します。
5. マルチ選択ボタンの右または左ボタンを押して選択し、OKボタンを押すか、液晶モニターの「 」アイコンをタッチして下記のいずれかを選択します。
   ：フォーマットしません。
   ：フォーマットします。
6. 再度確認されます。
   フォーマットする場合は、マルチ選択ボタンの右または左ボタンを押して、「 」を選択し、OKボタンを押すか、
   液晶モニターの「 」アイコンをタッチします。
7. 「フォーマット完了」表示されましたら。OKボタンを押すか「 完了 」アイコンをタッチして撮影画面に戻ります。

3.

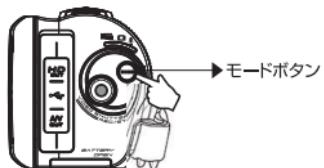
4.

◆ フォーマットしますと全てのデータが削除されますのでご注意ください。プロテクトされたデータも削除されます。
◆ 削除されたデータ(画像等)は元に戻りませんのでご注意ください。
◆ 設定により表示は異なります。

LEDランプ表示

名 称	色	説　明
LEDインジケータ	緑の点灯	電源が入っています。
		充電中
	緑の点滅	電源ON時に液晶モニターカバーを閉じている場合。
		動画撮影時、録画中です。(音声メモモード時は録音中です。)
セルフタイマー表示灯	赤の点滅	セルフタイマーが作動中です。

モードの変更

モードボタンを押すごとにモードが切り替わります。

◆ カメラの電源をオンにすると「動画モード」で立上がります。

◆ モードアイコン(動画･静止画･音声メモ)にタッチしてもモード変更します。

日付／時刻の設定

カメラを使用する前に、日付／時刻を設定します。

5.

1. カメラの電源をオンにします。
2. MENUボタンを押すか、「 Menu」アイコンをタッチします。
3. マルチ選択ボタンを上または下に押すか、
   「 基本設定」アイコンをタッチして、「基本設定」にします。
4. マルチ選択ボタンの左または右ボタンを押して「日付／時刻」を選択し、OKボタンを押すか
   「 日付／時刻」アイコンをタッチして「日付／時刻」を選択します。
5. マルチ選択ボタンの上または下ボタンを押すか、
   液晶モニターの / アイコンをタッチして数値を合わせます。
6. 選択している数値（青色の地色）が変更できます。
   マルチ選択ボタンの右または左ボタンを押して次の項目に移動します。
   アイコンをタッチしても他の項目に移動します。
7. 各項目を順次調整します。
8. OKボタンを押すか、「 OK」アイコンをタッチして決定します。
9. メニューボタンを押すか、「 戻る」アイコンをタッチして撮影画面に戻ります。

◆ 日付／時刻は初期設定（リセット）しても初期設定には戻りません。

◆ 設定により表示は異なります。

◆ 日付／時刻は、動画・静止画共にファイルデータとして記録されますので、できるだけ正確に設定してください。

言語の設定（初期設定:日本語）

液晶モニターに表示する言語を設定します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. MENUボタンを押すか、「 Menu」アイコンをタッチします。
3. マルチ選択ボタン（以降は、マルチ選択ボタンを省略して上または下ボタンと記載）の上または下ボタンをに押すか、「 基本設定」アイコンをタッチして、「基本設定モード」にします。
4. 右または左ボタンを押し「Language（言語）」を選択しOKボタンを押すか、「 JPN 言語」アイコンをタッチして「言語」を選択します。
5. 右または左ボタンを押して言語を選択してOKボタンを押すか、液晶モニターの「言語」アイコンをタッチして言語を選択します。

   選択可能な言語は、
   英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、トルコ語、タイ語、
   アラビア語、繁体中国語、簡体中国語、日本語、韓国語、ポルトガル語です。
6. メニューボタンを押すか、「 戻る」アイコンをタッチして撮影画面に戻ります。

◆ 日本語以外の言語を使用中に「初期設定に戻す」（リセット）すると、言語も日本語に戻りますのでご注意ください。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

動画モード

動画の撮影

1. カメラの電源をオンにします。
   本機は「 動画モード」で起動します。
2. 液晶モニターで、被写体を捉え、必要に応じてズームを使用し構図を決めます。
3. 録画ボタンを押して、録画を開始します。
4. 録画中、OKボタンを押すと録画を一時停止します。
   再度、OKボタンを押すと録画を開始します。
5. 録画ボタンをもう一度押すと録画が終了し、
   個別のファイル名が付いて自動的に保存されます。

録画ボタン

OKボタン

動画モード

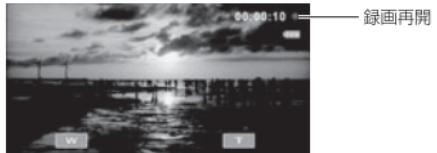
録画中

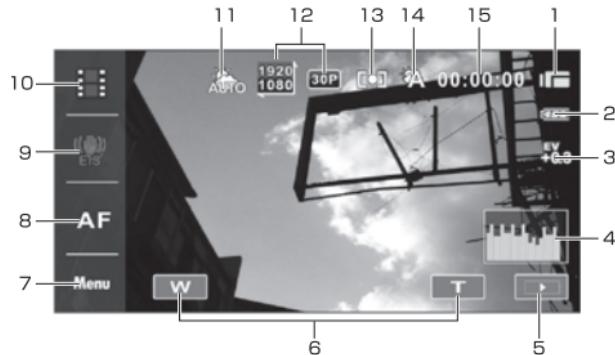
一時停止

録画再開

● 動画1ファイルの最大サイズは、3.8GBです。

◆ 録画中に液晶モニターカバーを閉じると録画を終了しますのでご注意ください。
液晶モニターを表面にして液晶モニターカバーを閉じた場合は、録画を続けます。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

動画モード

動画モードの操作画面

1		動画モード
2		電池残量
3	EV 0.3	露出補正(+0.3)
4		ヒストグラム
5		再生
6	W T	ズーム
7	Menu	メニュー
8	AF	フォーカス設定(標準)
9	EIS	電子式手ぶれ軽減機能(オフ)
10		動画サイズ設定
11	AUTO	シーン(オート)
12	1920 1080 30P	動画サイズ(1920×1080 30P)
13		測光(中央測光)
14	A	ホワイトバランス(オート)
15	00:00:00	録画可能時間(目安)

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

ズーム撮影

光学10倍のズームが搭載されています。

ズームボタンをＴ側に押すか液晶モニターの T アイコンをタッチするとズームイン(拡大)します。
ズームボタンをW側に押すか液晶モニターの W アイコンをタッチするとズームアウト(縮小)します。

デジタルズームの倍率の設定をします。

1. MENUボタンを押し、上または下ボタンを押して「 基本設定モード」にするか、
   「 Menu」アイコンをタッチしてから「 基本設定」アイコンをタッチして、「基本設定モード」にします。
2. 右または左ボタンを押して「 デジタルズーム」を選択し、OKボタンを押すか、
   「 デジタルズーム」アイコンをタッチして「デジタルズーム」を選択します。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択してOKボタンを押して決定するか、
   液晶モニターのアイコンをタッチして選択します。

   オフ　　：デジタルズームしません。

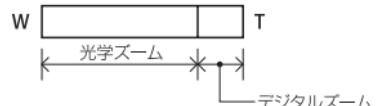
   ×10　　：10倍デジタルズームします。(初期設定)

   最大倍率：動画100倍、静止画60倍のデジタルズームします。
4. メニューボタンを押すか、「 戻る」アイコンをタッチして動画撮影モードに戻ります。

2.

3.

デジタルズーム
オフ
OFF
x 10
MAX
1/1

- 光学ズームが10倍になりましたら一度ズームボタンから指を離し、再度ズームボタンをT側に押すとデジタルズームが動作します。ズームアウト(縮小)の場合も同様です。
- デジタルズームの倍率が大きくなると解像度は低下します。
- 設定により表示されるアイコンは異なります。

撮影距離(初期設定:標準)

正しい撮影距離で撮影されていない場合、ピントが合いませんのでご注意ください。

1. 液晶モニターの「AF アイコン」をタッチします。
2. 液晶モニターのアイコン(文字)をタッチして下記のいずれかを選択します。

マニュアルフォーカス:任意のAFゾーンを指定して撮影します。
標準 :一般的な撮影をします。
マクロ :近接(マクロ)撮影をします。
固定 :フォーカスを固定します。

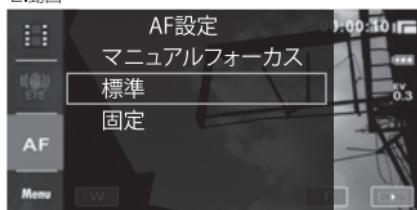
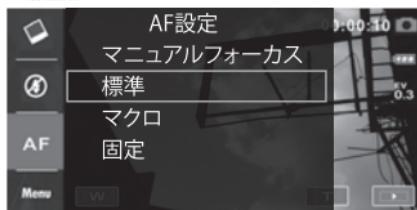
2.

2.動画

2.静止画

撮影距離(初期設定:標準)

標 準	約0.1m〜∞(W) 約 1 m 〜 ∞(T)
マクロ	約10cm(W) 約80cm(T)

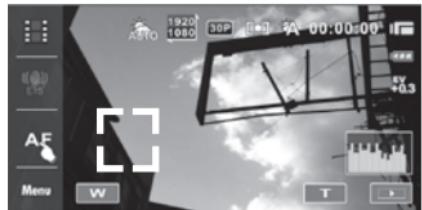
◆ マクロは、静止画専用メニューです。
◆ マニュアルフォーカスは、撮影状況により、指定箇所で合焦しない場合があります。
◆ 電源オフで初期設定に戻ります。

〈マニュアルフォーカスを選択した場合〉

A-1. 液晶モニターの任意の位値にタッチします。

A-2. 白色の枠でAFゾーンが表示されます。

〈固定を選択した場合〉

B-1. 液晶モニターのアイコン(文字)をタッチした時点でフォーカスが固定されます。

A-2.

露出補正(初期設定:0)

手動で露出値を変更します。被写体が暗く潰れる場合は+(明るく)補正し、明るすぎる場合はー(暗く)補正します。
補正はー2.0～+2.0EV(1/3EVステップ)の間で調整します。

〈液晶モニターをタッチして露出補正する場合〉

A-1. 液晶モニターをタッチして露出補正画面を表示し、「 + または − 」アイコンにタッチして設定します。

A-2. 設定の約2秒後に露出補正画面は自動的にオフになり設定が完了します。

〈マルチ選択ボタンで露出補正をする場合〉

B-1. 左または右ボタンを押して露出補正画面を表示します。

B-2. 右または左ボタンを押して露出調整をします。

B-3. 設定の約2秒後に露出設定画面は自動的にオフになり、設定が完了します。

露出補正画面

露出補正アイコン

B-3.

◆ 逆光での撮影等の場合、手動で露出補正をし、被写体を最適な明るさに近づけます。
液晶モニターにアイコンが表示されます。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

◆ 動画メニューの「EV 露出補正」からも設定できます。

動画の再生

1. 動画モード時、再生ボタンを押すか、液晶モニターの「 再生」アイコンをタッチすると、保存された動画の最初のシーンが液晶モニターに6画面のサムネイル表示されます。
2. 右または左ボタンを押して(緑色の枠を移動)ファイルを選択し、OKボタンを押すか液晶モニターのサムネイル表示をタッチして再生する動画を選択します。動画の最初のシーンが全画面表示されます。
3. 録画ボタンを押すか、液晶モニターの アイコンをタッチすると再生を開始します。
   ・右ボタンを押すと早送りされます。
   右ボタンを押すごとに早送りの速度が64倍まで調整されます。
   あるいは 早送りアイコンにタッチするごとに64倍まで調整されます。
   ・左ボタンを押すと早戻しされます。
   左ボタンを押すごとに早戻しの速度が64倍まで調整されます。
   あるいは 早戻しアイコンにタッチするごとに64倍まで調整されます。
   ・再生中および早送り/早戻し中に録画ボタンを押すか、
   「 一時停止」アイコンをタッチすると一時停止します。
   再度、録画ボタンを押すか、「 一時停止」アイコンをタッチすると再生を開始します。
4. 再生中にズームボタンを押すか、液晶モニターの または アイコンをタッチすると音量を調整します。
5. 再生中に上ボタンを押すか、「 スロー再生」アイコンをタッチするとスローモーション再生します。
6. 動画停止中に再生ボタンを押して撮影画面に戻るか、液晶モニターの アイコンをタッチすると再生を終了し、動画ファイルのサムネイル表示に戻ります。
7. 再度「 戻る」アイコンをタッチすると、動画撮影モードに戻ります。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

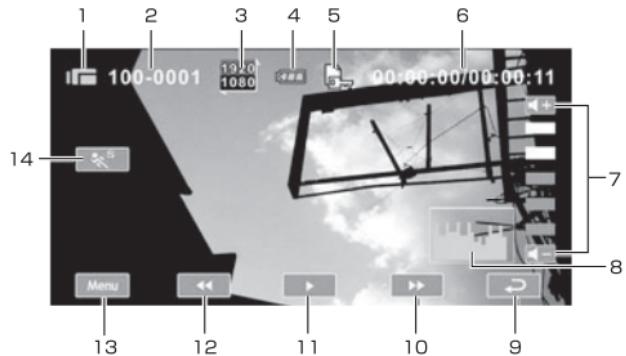
◆ 動画モードの時、動画を再生します。静止画モードの時、静止画を再生します。

動画再生モードアイコン

1.

2.

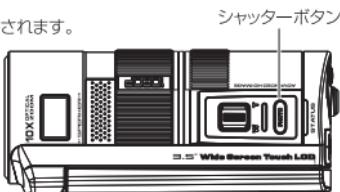
動画再生モード

動画再生モードの操作画面

1		動画再生モード
2	100-0001	フォルダ／ファイル番号
3	1920 1080	動画サイズ（1920×1080 30P）
4		電池残量
5		ファイル保護
6	00:00:00/00:00:11	動画再生時間／動画録画時間
7		音量調整
8		ヒストグラム
9		戻る
10		次のファイルへ、早送り
11		再生／一時停止
12		前のファイルへ、早戻し
13	Menu	メニュー
14		スローモーション再生

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

静止画モード

静止画の撮影

1. カメラの電源をオンにして、モードボタンを押すか、
   モードアイコンをタッチして「 静止画モード」にします。
2. 液晶モニターで、被写体を確認し、必要に応じてズームを使用して構図を決定します。
3. シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、カメラをしっかり構えてシャッターボタンを完全に押し込んで撮影します。
4. 静止画は、個別のファイル名が付いて保存されます。

◆ シャッターボタンを軽く押すと、途中で少し止まるところがあります。ここまで押すことを半押しと呼びます。
◆ 半押し状態の時、カメラが自動的に露出とピントを合わせます。ピント・露出が決定するとメインフォーカスフレームが緑色になります。
ピントが合わない場合はメインフォーカスフレームが赤色になります。赤色になった場合、正しい撮影距離（P.26参照）で撮影されているかどうかご確認ください。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

ズーム撮影

P.25「ズーム撮影」をご覧ください。

撮影距離

P.26「撮影距離」をご覧ください。

露出補正

P.28「露出補正」をご覧ください。

静止画モードの操作画面

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

1		静止画モード
2		電池残量
3	EV 0.3	露出補正(+0.3)
4		ヒストグラム
5		再生
6	W T	ズーム
7	Menu	メニュー
8	AF	フォーカス設定(オートフォーカス)
9		LEDフラッシュ設定(オフ)
10		静止画サイズ設定
11	AUTO	シーン(オート)
12	5M	静止画サイズ(5M)
13		撮影モード(標準)
14		測光(中央測光)
15		ホワイトバランス(自動)
16	OFF	セルフタイマー(オフ)
17	99999	静止画撮影可能枚数(目安)

内蔵フラッシュの使用(初期設定:自動)

内蔵フラッシュのモードを設定します。

1. 上ボタンをすか、フラッシュ設定アイコンをタッチしてフラッシュモードを切り替えます。上ボタンを押すごとに設定がかわります。
   - 自動　　：被写体周辺の光量が不足している場合、自動的に発光します。
   - 強制発光：どんな状況でも発光します。逆光等での撮影時に選択します。
   - 発光禁止：どんな状況でも発光しません。博物館等の発光が禁止されている場所や、被写体までの距離が離れている撮影時に選択します。

● 内蔵LEDフラッシュの有効範囲は約0.5～1.5m(W)、0.5～1.5m(T)です。

◆ 静止画専用の機能です。

セルフタイマー(初期設定:オフ)

1. 静止画モード時に下ボタンを押して選択します。
2. 下ボタンを押して下記のいずれかを選択します。下ボタンを押すごとに設定はかわります。

OFF オフ :セルフタイマーを使用しません。

2S 2秒 :シャッターボタンを押してから約2秒後に撮影されます。

10S 10秒:シャッターボタンを押してから約10秒後に撮影されます。

◆ 静止画専用の機能です。

◆ 電源をオフにすると、セルフタイマーの設定はオフに戻ります。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

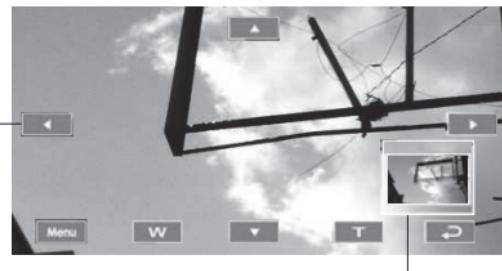
1.

静止画の再生

1. 静止画モード時、再生ボタンを押すか、
   「　再生」アイコンをタッチして静止画再生モードにします。
   保存された静止画が液晶モニターにサムネイル表示されます。
2. 右または左ボタンを押して（緑色の枠を移動）ファイルを選択してOKボタンを押すか、
   液晶モニターのサムネイル表示をタッチして再生する静止画を選択します。
   静止画が全画面表示されます。
3. ズームボタンをT側に押して拡大するか、「 W T 」アイコンをタッチします。
   「 T アイコン」をタッチすると静止画が拡大表示されます。最大10倍の拡大表示をします。
   「 W アイコン」をタッチすると静止画が縮小表示されます。（拡大表示後に有効です。）
4. 静止画を拡大表示すると液晶モニターに4方向の矢印アイコンが表示されます。
   上下左右ボタンを押すか、上／下／左／右各方向のアイコンをタッチすると
   静止画の拡大部分を移動できます。液晶モニター右下にナビゲーション画面が表示されます。
5. 静止画拡大表示中に液晶モニターの　アイコンをタッチすると拡大再生を終了し、
   再度　アイコンをタッチすると静止画ファイルのサムネイル表示に戻ります。
6. 再生ボタンを押すか、　アイコンをタッチすると静止画撮影モードに戻ります。

静止画再生モードアイコン

1.

4.

4方向アイコン（左）

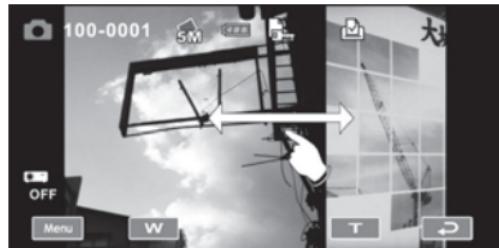
ナビゲーション画面

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

◆ 静止画モードの時、静止画を再生します。動画モードの時、動画を再生します。

静止画再生モード

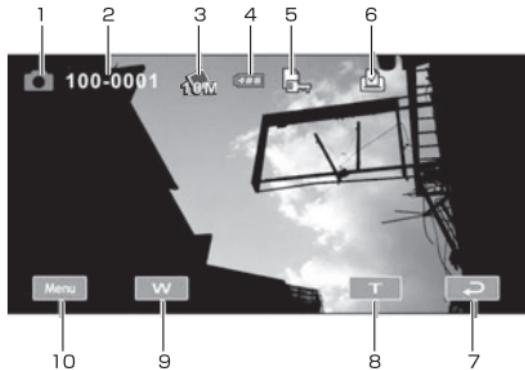
静止画のタッチスライド

静止画再生中に液晶モニターのセンター部を図のようにスライドタッチすると
前後の静止画に切り替え表示することができます。

静止画の回転

静止画再生中に液晶モニターのセンター部にを図のように時計回りまたは反時計回りに
タッチすると静止画が90°回転表示します。

◆ ファイルにより回転表示までの時間は異なります。

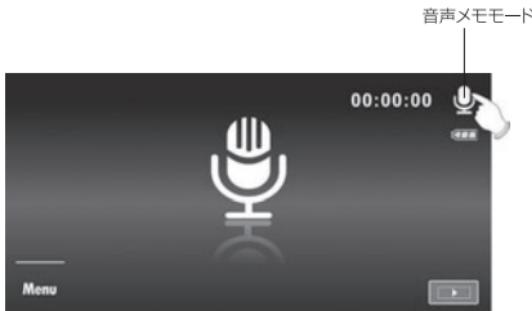
静止画再生モード

静止画再生モードの操作画面

1		静止画再生モード
2	100-0001	フォルダ／ファイル番号
3		静止画サイズ（10M）
4		電池残量
5		ファイル保護
6		DPOF
7		戻る
8	T	ズームイン（拡大）
9	W	ズームアウト（縮小）
10	Menu	メニュー

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

音声メモモード

テープレコーダーのように音声を録音します。

1. カメラの電源をオンにします。動画モードで起動します。
2. モードボタンを押すか、モードアイコンをタッチして「 音声メモ」モードにします。

音声メモの録音

1. 「 音声メモモード」時に、録画ボタンを押します。録音が開始されます。
2. 再度録画ボタンを押すと録音を終了します。
3. 音声ファイルには、個別のファイル名が付いて自動的に保存されます。

◆ 音声メモ1ファイルの最大容量は、3.8GBです。

音声メモモード

音声メモモードの操作画面

1		音声メモモード
2		電池残量
3		再生
4	Menu	メニュー
5	00:00:00	録音可能時間（目安）

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

音声メモの再生

録音された音声メモを再生します。

1. 音声モード時、再生ボタンを押すか、 アイコンをタッチします。
   保存された音声メモファイルがサムネイル表示されます。
2. 右または左ボタンを押して(緑色の枠を移動)OKボタンを押すか、
   液晶モニターのサムネイル表示をタッチして再生する音声ファイルを選択します。
3. 録画ボタンを押すか、液晶モニターの「 再生」アイコンをタッチすると再生を開始します。
   再生中に録画ボタンを押すか「 一時停止」アイコンをタッチすると再生を一時停止します。
   再度録画ボタンを押すか「 一時停止」アイコンをタッチすると再生を再開します。
4. 再生中に、液晶モニターの または アイコンをタッチするか、
   ズームボタンを押して音量を調整します。
5. 停止中に右ボタンを押すか、「 次へ」アイコンをタッチすると、
   次の音声ファイルを再生します。
   左ボタンを押すか、「 前へ」アイコンをタッチすると前の音声ファイルを再生します。
6. 音声メモファイル再生中に再生ボタンを押すか、
   液晶モニターの アイコンをタッチすると再生を終了し、
   音声メモファイルのサムネイル表示に戻ります。

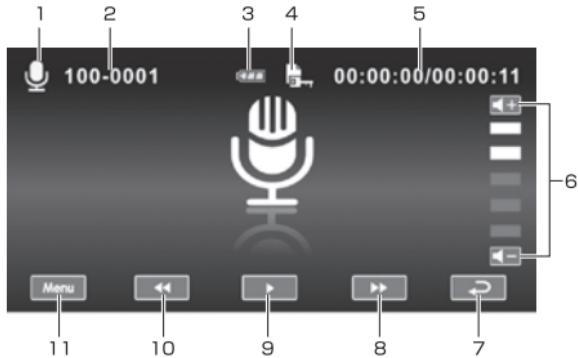
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。
◆ 音声メモモードの時、音声メモを再生します。

音声メモモードアイコン

1.

3.

音声メモ再生モード

音声メモ再生モードの操作画面

1		音声メモ再生モード
2	100-0001	フォルダ／ファイル番号
3		電池残量
4		ファイル保護
5	00:00:00/00:00:11	音声ファイル再生時間／音声ファイル録音時間
6		音量調整
7		戻る
8		次のファイルへ
9		再生／一時停止
10		前のファイルへ
11	Menu	メニュー

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

動画メニュー

動画モードの基本設定を行います。

1. カメラの電源をオンにします。本機は「 動画モード」で起動します。
2. MENUボタンを押すか、「 Menu」アイコンをタッチします。
3. 右または左ボタンを押して項目を選択し、OKボタンを押すか、
   液晶モニターのアイコンをタッチして項目を選択します。

画質(初期設定:ファイン)

動画の画質を選びます。

1. 「 画質」を選択してサブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、
   アイコンをタッチして決定します。
   - スーパーファイン：最高画質で動画を撮影します。
   - ファイン：高画質で動画を撮影します。
   - 標準：標準画質で動画を撮影します。
3. メニューに戻ります。
4. 「 戻る」アイコンをタッチすると動画撮影モードになります。

1.

2.

● 高画質にするとデータ容量が大きくなり、同じSDメモリカードで撮影できる時間が短くなります。(静止画の場合、撮影できる枚数が少なくなります。)

◆ 動画の初期設定はファイン。静止画の初期設定はスーパーファインになります。

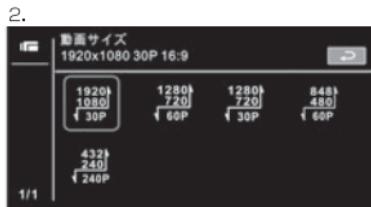
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

動画サイズ(初期設定:1920×1080 30P)

動画のサイズを選びます。

1.「 動画サイズ」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、
   アイコンをタッチして決定します。

FHD	:1920×1080	30P
HD	:1280×720	60P
HD	:1280×720	30P
WVGA	:848×480	60P
WQVGA	:432×240	240P

3. メニューに戻ります。
4. アイコンをタッチすると動画撮影モードになります。

● サイズを大きくすると高画質になりますが、データ容量が大きくなり、
同じSDメモリーカードで撮影できる時間が短くなります。

◆ 画角はサイズにより異なります。
◆ アイコンをタッチした場合は、動作が異なる場合があります。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

1.

2.

プレ録画（初期設定:オフ）

動画のプレ録画をします。
撮影開始時に録画ボタンを押して撮影を開始します。
再度、録画ボタンを押すと撮影を終了します。
録画は、撮影開始時の約5秒前から開始されますのでシャッターチャンスを逃しません。

1.「 プレ録画」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして決定します。
   - オフ：プレ録画を行いません。
   - オン：プレ録画を行います。
3. メニューに戻ります。
4.「 戻る」アイコンをタッチすると動画撮影モードになります。
5. 液晶モニターに赤色の「 プレ録画」アイコンが表示されます。

◆ 電源をオフにすると、設定はオフに戻ります。
◆ 定点撮影設定中は、プレ録画はできません。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

1.

2.

5.　プレ録画アイコン

定点撮影(初期設定:オフ)

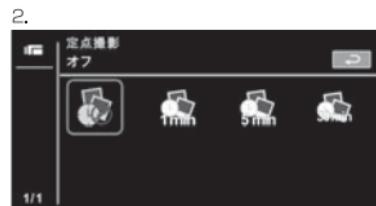
カメラを三脚等で固定して、設定した時間ごとに1コマ撮影します。
夕景や花の開花等を撮影します。録画ボタンを押して撮影を開始します。

1.「 定点撮影」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして決定します。
   - オフ :予約撮影を行いません。
   - 1分 :1分間隔で1コマ撮影をします。
   - 5分 :5分間隔で1コマ撮影をします。
   - 30分:30分間隔で1コマ撮影をします。
3. メニューに戻ります。
4.「 戻る」アイコンをタッチすると動画撮影モードになります。

● 電池残量に注意してください。

◆ 動画サイズWQVGAでは、定点撮影は使用できません。
◆ 電源をオフにすると、設定はオフに戻ります。
◆ プレ録画設定中は、定点撮影はできません。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

1.

2.

デュアルストリーム（初期設定:オフ）

FHDで撮影中も同時に432×240（30fps）サイズでも記録されます。
高画質とWebサイズの動画が同時に保存されます。

1.「 デュアルストリーム」を選択します。
2. 選択ボタンを押すか、液晶モニターのアイコンをタッチしてサブメニューを表示します。
3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、
   アイコンをタッチして決定します。
   - ：デュアルストリームを設定しません。
   - ：デュアルストリームを設定します。
4. メニューボタンを押すか、「 戻る」アイコンをタッチすると動画撮影モードになります。

◆ カメラでの再生ではファイルは1つに見えますが、パソコンに取り込むと『FILE○○○○』と『FILE○○○○_thm』の2つのファイルが保存されます。『FILE○○○○_thm』がWebサイズの動画です。

◆ 電源をオフにすると、設定はオフに戻ります。

◆ 設定によりデュアルストリームは使用できない場合があります。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

1.

3.

顔認識(初期設定:オフ)

人の顔を認識すると、白い四角い枠が表示されます。
検出した顔にピントを合わせます。

1. 「 顔認識」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして決定します。
   - オフ：顔検出を行いません。
   - オン：顔検出を行います。
3. メニューに戻ります。
4. 「 戻る」アイコンをタッチすると動画撮影モードになります。

1.

2.

◆ 電源をオフにすると、設定はオフに戻ります。
◆ 撮影状況によっては、顔認識が正しく動作しない場合があります。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

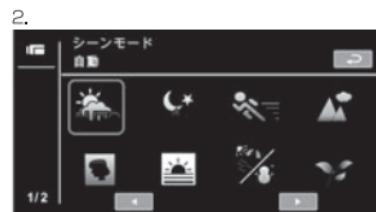
シーンモード(初期設定:自動)

撮影するシーンを設定し、より簡単に雰囲気のある撮影をします。

1.「 シーンモード」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして決定します。
   - 自動　:自動で最適に調整します。
   - 夜景　:夜景の撮影に適しています。
   - スポーツ　:スポーツ等、早い動きの撮影に適しています。
   - 風景　:遠景の撮影に適しています。
   - ポートレイト:人物の撮影に適しています。
   - 夕景　:夕暮れ、日の出時の撮影に適しています。
   - 雪景色　:雪景色や快晴の浜辺の撮影に適しています。
   - 花　:草花の撮影に適しています。
   - 花火　:花火の撮影に適しています。
   - 水族館　:水族館等の撮影に適しています。
3. メニューに戻ります。
4.「 戻る」アイコンをタッチすると動画撮影モードになります。

1.

2.

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

ホワイトバランス(初期設定:自動)

自動での色調が思わしくない場合、様々な被写体周辺の状況に応じて
ホワイトバランスを調整し、希望の色合いに近づけます。

1.「 ホワイトバランス」を選択し、サブメニューを表示します。

2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、
アイコンをタッチして決定します。

- 自動 :自動的に調整されます。
- 白熱灯 :屋内で電球下での撮影に適しています。
- 太陽光 :屋外の太陽下の撮影に適しています。
- 曇り :屋外で曇りあるいは日陰での撮影に適しています。
- 蛍光灯 :屋内で蛍光灯下での撮影に適しています。
- カスタム :この機能は使えません。

3. メニューに戻ります。

4.「 戻る」アイコンをタッチすると動画撮影モードになります。

1.

2.

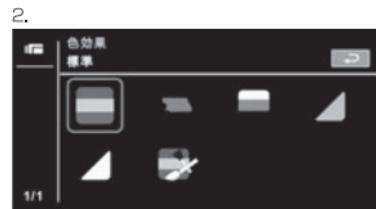
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

色効果(初期設定:標準)

色効果を変更することで、印象の異なる写真を撮影できます。

1.「 効果」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして決定します。
   - 標準 :効果を加えません。
   - アート :アート調の画像にします。
   - セピア :セピア画像にします。
   - ネガ :ネガ画像にします。
   - 白黒 :白黒画像にします。
   - ビビット:より鮮鋭な画像にします。
3. メニューに戻ります。
4.「 戻る」アイコンをタッチすると動画撮影モードになります。

1.

2.

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。
◆ 電源をオフにすると設定は標準に戻ります。

測光方式(初期設定:中央測光)

露出の測光方法を設定します。

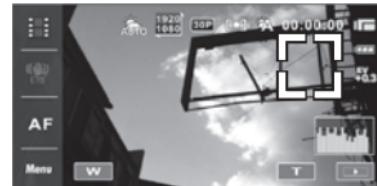
1.「 測光」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、
   アイコンをタッチして決定します。
   - 中央測光 :中央部周辺を測光します。
   - 平均測光 :平均的に測光します。
   - スポット測光:任意のスポットを測光しますので、周辺がやや暗くなったり白っぽくなる場合があります。
3. メニューに戻ります。
4.「 戻る」アイコンをタッチすると動画撮影モードになります。

◆ スポット測光を選択した場合は、液晶モニターの「 アイコン」をタッチして
「マニュアルフォーカスアイコン(文字)」をタッチしてから任意の位置にタッチします。
システム上、任意の位置より多少ずれる場合があります。あらかじめご了承ください。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

1.

2.

スポット測光

露出補正

P.28「露出補正」をご覧ください。

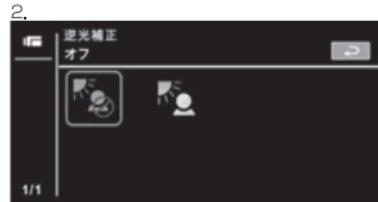
逆光補正(初期設定:オフ)

被写体が逆光時に暗くならないように補正します。

1.「 逆光補正」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして決定します。
   - オフ：逆光補正しません。
   - オン：逆光補正します。
3. メニューに戻ります。
4.「 戻る」アイコンをタッチすると動画撮影モードになります。

1.

2.

◆ 電源をオフにすると設定はオフに戻ります。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

コントラスト(初期設定:標準)

撮影画像のコントラスト設定をします。

1.「 コントラスト」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして決定します。
   - 標準 : 標準撮影します。
   - 高 : コントラストを強めにします。
   - 低 : コントラストを弱めにします。
3. メニューに戻ります。
4.「 戻る」アイコンをタッチすると動画撮影モードになります。

1.

2.

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

シャープネス（初期設定:標準）

撮影画像のシャープネス設定をします。

1. 「 シャープネス」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして決定します。
   - 標準　:標準撮影します。
   - ハード:撮影画像をシャープ（くっきり）にします。
   - ソフト:撮影画像をソフト（やわらかく）にします。
3. メニューに戻ります。
4. 「 戻る」アイコンをタッチすると動画撮影モードになります。

1.

2.

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

動体検出(初期設定:オフ)

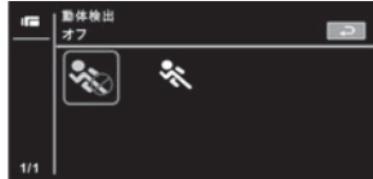
被写体の動きを検出すると自動的に撮影を開始し、動きが約5秒以上止まると自動的に撮影を終了します。

1.「 動体検出」を選択します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして決定します。
   - オフ : 動体検出を設定しません。
   - オン : 動体検出を設定します。
3. メニューに戻ります。
4.「 戻る」アイコンをタッチすると動画撮影モードになります。

1.

2.

◆ 継続して撮影された場合、それぞれ別のファイルとして保存されます。
◆ 電源をオフにすると設定はオフに戻ります。
◆ 電池残量・メモリー残量に注意してください。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

録画開始

動きを検出すると緑のインジケーターが上昇し、録画を開始します。

緑のインジケーターの表示が消えた場合自動的に録画を終了します。

動画再生メニュー

動画再生の基本設定を行います。

1. カメラの電源をオンにします。本機は「 動画モード」で起動します。
2. 再生ボタンを押しすか、「 再生」アイコンをタッチします。
3. 一画面表示の時にメニューボタンを押すか、一画面表示またはサムネイル表示の時に「Menu 」アイコンをタッチします。
4. 右または左ボタンを押して項目を選択し、OKボタンを押すか、液晶モニターのアイコンをタッチして項目を選択します。

ファイル保護

誤って削除されないようにファイルを保護します。

1. 「 ファイル保護」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押すか、アイコンにタッチします。

1ファイル保護 ：選択したファイルのみ保護します。
1ファイル保護解除：選択したファイルの保護を解除します。
全て保護 ：全ての動画ファイルを保護します。
全て保護解除 ：全ての動画ファイルの保護を解除します。

1.

2.

〈「1ファイル保護」を選択した場合〉

A-1.「1ファイル保護」の設定前に保護するファイルを選択して表示します。

A-2.「1ファイル保護」を再度選択してOKボタンを押すかアイコンをタッチします。

A-3.「このファイルを保護しますか?」が表示されます。
右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、
OKボタンを押すかアイコンにタッチして決定します。

○: 表示されたファイルを保護します。

×: 保護しません。

A-3.

〈「全て保護」を選択した場合〉

B-1.「すべてのファイルを保護しますか?」が表示されます。
右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、
OKボタンを押すかアイコンにタッチして決定します。

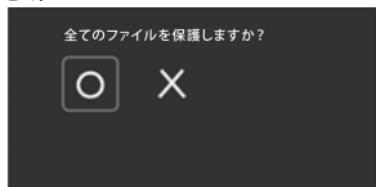
○: 全てのファイルを保護します。

×: 保護しません。

B

B-1.

全てのファイルを保護しますか？

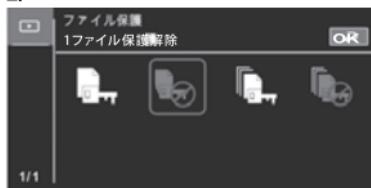
○　×

〈「1ファイル保護解除」を選択した場合〉

C-1.「1ファイル解除」の設定前に保護解除するファイルを選択して表示します。

C-2.「1ファイル保護解除」を再度選択してOKボタンを押すかアイコンをタッチします。

O：表示されたファイルを保護を解除します。

X：保護解除しません。

2.

C-2.

〈「全て保護解除」を選択した場合〉

D-1.「全てのファイルを保護解除しますか?」が表示されます。
右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、
OKボタンを押すかアイコンにタッチして決定します。

O：全てのファイルを保護解除します。

X：保護解除しません。

2.

D-2.

◆ 保護されたファイルには アイコンが表示されます。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

再生方法

動画ファイルの再生モードを設定し、サブメニューを表示します。

1.「 再生方法」を選択します。

2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチします。

- 1ファイル再生　：選択したファイルを1回再生します。
- 全ファイル再生　：全ての動画ファイルの1回再生をします。
- 1ファイル·リピート：選択した動画ファイルのリピート再生をします。
- 全ファイル·リピート：全ての動画ファイルのリピート再生をします。

3.「 戻る」アイコンをタッチするか録画ボタンを押して再生画面に戻ります。

4. 録画ボタンを押すか、「 再生」アイコンにタッチして再生を開始します。

〈「1ファイル再生」を選択した場合〉

A-1. 再生する動画ファイルを選択して、録画ボタンを押すか
「 再生」アイコンにタッチして再生を開始します。

〈「全ファイル再生」を選択した場合〉

B-1. 録画ボタンを押すか、「 再生」アイコンにタッチして再生を開始します。

1.

2.

B-1.

機能設定　動画再生メニュー

〈「1ファイル・リピート」を選択した場合〉

C-1. 再生する動画ファイルを選択して、録画ボタンを押すか、
「 再生」アイコンにタッチして再生を開始します。

C-2. 再生を終了する場合は、再生ボタンを押すか、「 戻る」アイコンにタッチします。

〈「全ファイル・リピート」を選択した場合〉

D-1. 録画ボタンを押すか、「 再生」アイコンにタッチして再生を開始します。

D-2. 全ファイル・リピート再生を終了する場合は、再生ボタンを押すか、
「 戻る」アイコンにタッチします。

◆ リピート再生を終了する場合は、録画ボタンを押すか、「 戻る」アイコンをタッチします。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

C-1.

D-1.

削除

ファイルを削除します。

1.「 削除」を選択し、サブメニューを表示します。

2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押すかアイコンをタッチします。

1ファイル削除 : 選択したファイルを削除します。

全て削除 : すべてのファイルを削除します。

選択削除 : 選択したファイルを削除します。

1.

2.

● ファイルは、一度削除すると元に戻せません。削除する前によく確認し、
必要に応じてバックアップを取ってください。

● 保護を施したファイルは削除されません。
保護を施したファイルを削除するには、ファイルの保護を解除する必要があります。

〈1ファイル削除〉を選択した場合

A-1.「削除」設定の前に削除するファイルを選択して表示します。

A-2.「1ファイル削除」を再度選択してOKボタンを押すかアイコンにタッチします。

A-3. 右または左ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押すか
アイコンにタッチして決定します。

O : 削除します。

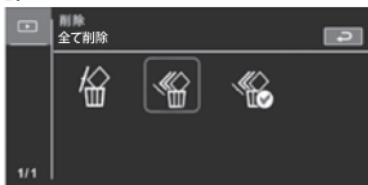
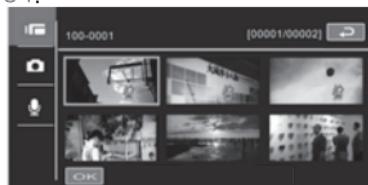
X : 削除しません。

A-3.

〈全て削除〉を選択した場合

B-1. 右または左ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押すかアイコンにタッチして決定します。

- ○ : 全てのファイルを削除します。
- ✕ : ファイルを削除しません。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

〈選択削除〉を選択した場合

C-1. サムネイル表示されます。
左または右ボタンを押してファイルを選択（緑色の枠で囲まれた）してファイルにタッチします。
アイコンが表示されます。
さらに他のファイルを削除する場合はC-1.を繰り返します。
誤って選択した場合は、再度タッチすると解除されます。

C-2. OK アイコンをタッチします。

C-3. 右または左ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押すかアイコンにタッチして決定します。

- ○ : 選択したファイルを削除します。
- ✕ : ファイルを削除しません。

B.

B-1.

C.

C-1.

静止画メニュー

静止画モードの基本設定を行います。

1. カメラの電源をオンにします。
2. モードボタンを押すか、モードアイコンをタッチして「静止画モード 」にします。
3. メニューボタンを押します。
4. 右または左ボタンを押して項目を選択し、OKボタンを押すか、
   液晶モニターのアイコンをタッチして項目を選択します。

3.

画質

P.42「画質」をご覧ください。

静止画サイズ(初期設定:10M)

静止画のサイズを選びます。

1.「 静止画サイズ」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、
   アイコンをタッチして決定します。
   - 16M:16M 4608×3456ピクセル(ソフトウェア補間)
   - 10M:10M 3648×2736ピクセル
   - 5M :5M 2592×1944ピクセル
   - 3M :3M 2048×1536ピクセル
3. メニューに戻ります。
4. アイコンをタッチすると静止画撮影モードになります。

1.

2.

● サイズを大きくすると高画質になりますが、データ容量が大きくなり、
同じSDメモリーカードで撮影できる枚数が少なくなります。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

機能設定　静止画メニュー

撮影モード（初期設定:標準）

静止画の撮影モードを選びます。

1.「 撮影モード」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、
   アイコンをタッチして決定します。
   - 標準　:シャッターを一回押すと1枚撮影します。
   - 連写　:シャッターを押している間、約1秒毎に連続撮影をします。
   - AEB　:シャッターを一回押すと連続的に3枚（露出を明るい·標準·暗い）撮影します。
   - 10枚連写:約3秒間に10枚撮影します。
   - 30枚連写:約2秒間に30枚撮影します。
3. メニューに戻ります。
4. メニューボタンを押すか、「 戻る」アイコンをタッチすると静止画撮影モードになります。

1.

2.

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

プレビュー(初期設定:1秒)

撮影後、撮影した画像を液晶モニターに表示します。

1.「 プレビュ」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして決定します。
   - オフ: 表示しません。
   - 1秒 : 撮影画像を約1秒間表示します。
   - 3秒 : 撮影画像を約3秒間表示します。
   - 5秒 : 撮影画像を約5秒間表示します。
3. メニューに戻ります。
4. メニューボタンを押すか、「 戻る」アイコンをタッチすると静止画撮影モードになります。

1.

2.

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

顔認識

P.47「顔認識」をご覧ください。

シーンモード

P.48「シーンモード」をご覧ください。

ホワイトバランス

P.49「ホワイトバランス」をご覧ください。

色効果

P.50「色効果」をご覧ください。

測光方式

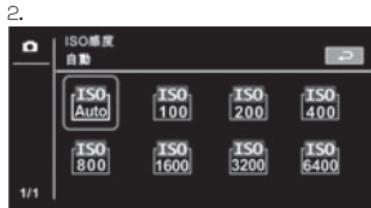
P.51「測光方式」をご覧ください。

ISO感度(初期設定:自動)

手動でISO感度を変更します。

1. 「 ISO感度」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして決定します。
   - 自動 :感度を自動で調整します。
   - 100 :屋外の晴天時での撮影に適しています。
   - 200 :屋外の曇天時、または明るい室内での撮影に適しています。
   - 400 :屋外の曇天時、または光量が少ない室内でLEDフラッシュを発光して撮影する場合に適しています。
   - 800 :光量が少ない状況下で、LEDフラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。
   - 1600:光量が少ない状況下で、LEDフラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。
   - 3200:極端に光量が少ない状況下で、LEDフラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。
   - 6400:極端に光量が少ない状況下で、LEDフラッシュを発光せずに撮影する場合に適しています。
3. メニューに戻ります。
4. メニューボタンを押すか、「 戻る」アイコンをタッチすると静止画撮影モードになります。

1.

2.

◆ ISO感度を高くすると少ない光量で撮影が可能になりますが、ノイズが発生する場合があります。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

露出補正

P.28「露出補正」をご覧ください。

逆光補正

P.52「逆光補正」をご覧ください。

コントラスト

P.53「コントラスト」をご覧ください。

シャープネス

P.54「シャープネス」をご覧ください。

静止画再生メニュー

静止画モードの基本設定を行います。

1. カメラの電源を入れます。
2. モードボタンを押すか、アイコンをタッチして「 静止画モード」にします。
3. 再生ボタンを押すか、「 再生」アイコンをタッチします。
4. 一画面表示の時にメニューボタンを押すか、一画面表示またはサムネイル表示の時に「 Menu」アイコンをタッチします。
5. 右または左ボタンを押して項目を選択し、OKボタンを押すか、液晶モニターのアイコンをタッチして項目を選択します。

4.

ファイル保護

P.56「ファイル保護」をご覧ください。

スライドショー（初期設定:オフ）

全ての静止画を一定間隔で順次表示します。

1.「 スライドショ」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして決定します。
   - オフ：スライドショーしません。
   - 1秒：約1秒間隔で全ての静止画を表示します。
   - 3秒：約3秒間隔で全ての静止画を表示します。
3. スライドショーが開始されます。
4. スライドショーを終了する場合はズームボタンを押すか、液晶モニターをタッチします。

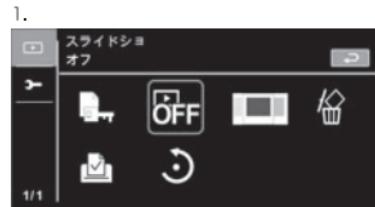
◆ スライドショーの表示方法は、P.72「スライド方法」をご覧ください。

◆ スライドショーを停止すると設定はオフに戻ります。

◆ 電源をオフにすると設定はオフに戻ります。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

1.

3.

スライド方法

スライドショー表示時の設定をします。

1.「 スライド方法」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、
   アイコンをタッチして決定します。
   - フェイディング：フェードインフェードアウトしながらスライドショーをします。
   - スライド　：左右に流れるようにスライドショーをします。
3.「スライドショー」の間隔を選択して開始します。
   P.71「スライドショー」をご覧ください。

1.

2.

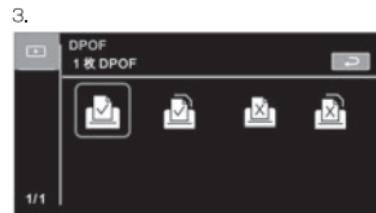
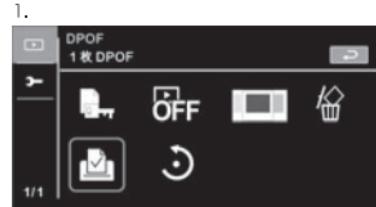
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。
◆スライド方法は初期設定（リセット）しても初期設定に戻りません。

削除

P.61「削除」をご覧ください。

DPOF

DPOFは、DPOFをサポートするプリンターを使い、SD/SDHCメモリーカードに保存されている静止画を直接プリントアウトしたり、写真店等にプリントサービスを依頼する場合に手間を省くことができます。

1.「 DPOF」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして下記のいずれかを選択し、決定します。
   - 1枚DPOF　：選択したファイルをDPOF設定します。
   - 全てDPOF　：すべてのファイルをDPOF設定します。
   - 1枚DPOF解除：選択したファイルのDPOF設定を解除します。
   - 全てDPOF解除：すべてのファイルのDPOF設定を解除します。

〈「1枚DPOF」を選択した場合〉

A-1. 「1枚DPOF」を設定する前に、DPOF設定する静止画を表示します。

A-2. 「1枚DPOF」を再度設定します。

A-3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、
OKボタンを押すかアイコンにタッチして決定します。

○ はい　：DPOF設定します。

✕ いいえ：DPOF設定しません。

A-3.

このファイルをDPOF設定しますか？

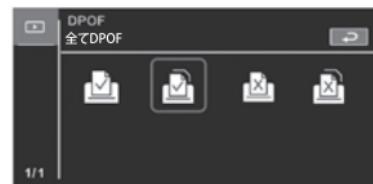
〈「全てのDPOF」を選択した場合〉

B-1. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、
OKボタンを押すかアイコンにタッチして決定します。

○ はい　：全ての静止画をDPOF設定します。

✕ いいえ：DPOF設定しません。

B.

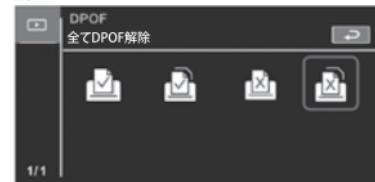
B-1.

〈「1枚DPOF解除」を選択した場合〉

C-1. 「1枚DPOF解除」を設定する前に、DPOF設定する静止画を表示します。

C-2. 「1枚DPOF解除」を再度選択します。

C-3. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、
OKボタンを押すかアイコンにタッチして決定します。

○ はい　：DPOF設定を解除します。

✕ いいえ：DPOF設定を解除しません。

〈「全てDPOF解除」を選択した場合〉

D-1. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、
OKボタンを押すかアイコンにタッチして決定します。

○ はい　：全てのDPOF設定を解除します。

✕ いいえ：DPOF設定を解除しません。

◆ DPOF設定された静止画には アイコンが表示されます。

◆ プリント枚数は1枚に設定されます。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

● この機能は、SD/SDHCメモリーカードがセットされている場合のみ利用できます。

● 日付･時間は、カメラに設定されたものが印字されます。
撮影前に日付／時刻を正確に設定してください。P.21をご覧ください。

● DPOFは静止画専用メニューです。

C-1.

C-3.

D.

D-1.

回転

静止画を回転させます。

1. 「 回転」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして決定します。
   - 左90度：左に90度回転します。
   - 右90度：右に90度回転します。
3. 回転を選択した場合、下記のいずれかを選択します。
   - はい　：回転します。
   - いいえ：回転しません。
4. 「はい」を選択した場合、静止画が回転したファイルとして保存されます。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

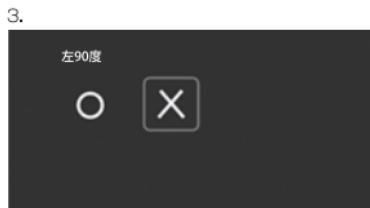
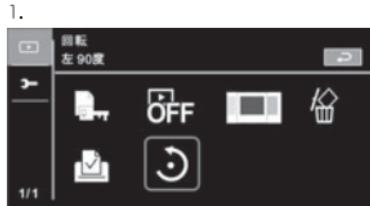
◆回転した画像を元に戻す場合は、反対方向に再度回転します。

1.

2.

回転
左 90度
1/1

3.

左90度

音声メモ再生メニュー

音声メモモードの基本設定を行います。

ファイル保護

P.56「ファイル保護」をご覧ください。

再生方法

P.59「再生方法」をご覧ください。

削除

P.61「削除」をご覧ください。

基本設定メニュー

カメラの基本機能を設定します。

1. カメラの電源をオンにし、MENUボタンを押すか、「 Menu」アイコンをタッチしてメニュー画面を表示します。
2. 上または下ボタンを押して「 基本設定」を選択するか「 基本設定」アイコンをタッチします。
3. 右または左ボタンを押して項目を選択しOKボタンを押すか、液晶モニターのアイコンをタッチして項目を選択します。

2.

TV方式（初期設定:NTSC）

テレビ出力信号をご使用の国･地域に合わせて切り替えます。

1. 「 TV方式」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして下記のいずれかを選択し、決定します。
   - NTSC：日本･米国･カナダ･台湾
   - PAL　：ヨーロッパとアジア（日本･台湾を除く）
3. メニューボタンを押すか、「 戻る」アイコンをタッチすると撮影モードになります。

2.

◆ NTSC（日本国内）のテレビに「PAL」出力した場合、テレビ画面がパラパラ流れたり、白黒になったりします。

◆ 撮影した画像の出力方式の選択です。撮影時には関係ありません。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

ファイル番号(初期設定:連続)

ファイル番号の割り当て方法を設定します。

1.「 ファイル番号」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、
   アイコンをタッチして下記のいずれかを選択し、決定します。
   リセット：ファイル番号を0001に戻します。
   連続　：ファイル番号を連続して付加します。
3. メニューボタンを押すか、「 戻る」アイコンをタッチすると撮影モードになります。

1.

2.

◆ フォーマット後のファイル番号設定です。
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

日付/時刻

P.21「日付/時刻の設定」をご覧ください。

フォーマット

P.19「メモリーのフォーマット」をご覧ください。

初期設定

カメラの設定を工場出荷の状態に戻します。

1.「 初期設定」を選択し、サブメニューを表示します。

2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして下記のいずれかを選択し、決定します。

   O : 初期設定に戻します。

   X : 初期設定に戻しません。

1.

2.

◆ 日付／時刻及スライドショーのスライド方法は初期設定(リセット)しても初期設定には戻りません。

◆ 日本語以外の言語を設定している場合でも、リセットすると日本語になりますのでご注意ください。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

液晶輝度(初期設定:中)

液晶モニターの明るさを調整します。

1.「 液晶輝度」を選択し、サブメニューを表示します。

2. 右または左ボタンを押して下記のいずをれかを選択しOKボタンを押すか、
アイコンをタッチして下記のいずれかを選択し、OKアイコンをタッチして決定します。

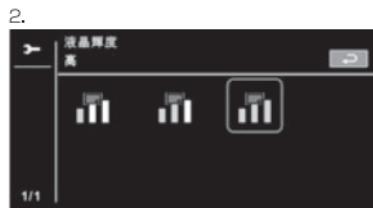
低: 暗めに設定します。

中: 標準

高: 明るめに設定します。

3. メニューボタンを押すか、「 戻る」アイコンをタッチすると撮影モードになります。

1.

2.

◆ 屋外等の明るい場所で「高」に設定すると液晶モニターが見やすくなりますが、電池の消費が早くなりますのでご注意ください。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

日付プリント（初期設定:オフ）

撮影する静止画の日付プリントを設定します。

1. 「 日付プリント」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、
   アイコンをタッチして下記のいずれかを選択し、決定します。
   - オフ　　　：日付プリントを設定しません。
   - 日付　　　：日付プリントを設定します。
   - 日付／時刻：日付／時刻プリントを設定します。
3. メニューボタンを押すか、「 戻る」アイコンをタッチすると撮影モードになります。

◆ 日付プリントの設定は、静止画専用メニューです。

◆ 設定により表示されるアイコンが異なります。

1.

2.

基本設定

自動電源オフ(初期設定:3分)

カメラを操作しない時間が一定以上続くと、電力節約のため、
カメラの電源が自動的にオフになります。

1.「 自動電源オフ」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、
   アイコンをタッチして下記のいずれかを選択し、決定します。

   オフ: 自動的にオフしません。

   3分 : 3分間操作をしないと、電源が自動的にオフになります。

   5分 : 5分間操作をしないと、電源が自動的にオフになります。
3. メニューボタンを押すか、「 戻る」アイコンをタッチすると撮影モードになります。

1.

2.

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

言語

P.22「言語の設定」をご覧ください。

電源周波数(初期設定:50Hz)

撮影場所によって、正しい電源周波数を選択し、蛍光灯のチラツキを抑制します。

1.「 電源周波数」を選択し、サブメニューを表示します。

2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、
アイコンをタッチして下記のいずれかを選択し、決定します。

自動　:この機能は使えません。

50Hz:電源周波数を50Hzにします。

60Hz:電源周波数を60Hzにします。

3. メニューボタンを押すか、「 戻る」アイコンをタッチすると撮影モードになります。

1.

2.

◆ 日本では50Hzと60Hzの交流電源が使われています。
静岡県の富士川から新潟県の糸魚川あたりを境に東側が50Hz、西側が60Hzです。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

モニター表示（初期設定:標準）

液晶モニターに表示するアイコンを設定します。

1. 「 モニタ表示」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択しOKボタンを押すか、アイコンをタッチして下記のいずれかを選択し、決定します。
   - 標準　　　　：標準のアイコン表示です。
   - ヒストグラム：ヒストグラムを表示します。
   - オフ　　　　：アイコンを必要最低限の表示にします。
3. メニューボタンを押すか、「 戻る」アイコンをタッチすると撮影モードになります。

1.

2.

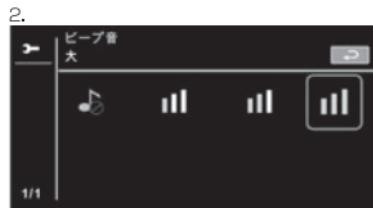
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

ビープ音(初期設定:中)

カメラの操作(ビープ音)音量を設定します。

1. 「 ビープ音」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押すか、アイコンをタッチし、下記のいずれかを選択し、 OK アイコンをタッチして決定します。
   - オフ:ビープ音をオフにします。
   - 小　:ビープ音を小さくします。
   - 中　:ビープ音は標準の大きさです。
   - 大　:ビープ音を大きくします。
3. メニューボタンを押すか、「 戻る」アイコンをタッチすると撮影モードになります。

1.

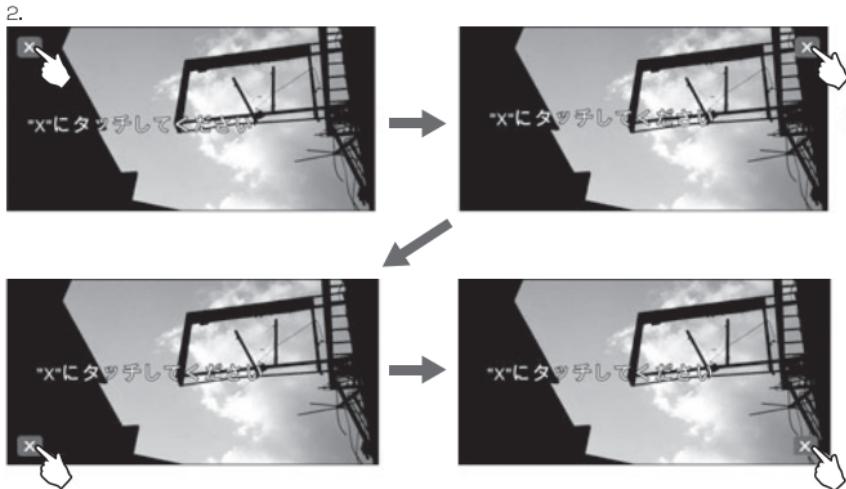
2.

◆ビープ音をオフに設定すると、起動音・シャッター音もオフになります。

タッチパネルの校正

タッチパネルの位置検出の補正をします。

1.「 タッチパネルの校正」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 液晶モニターの左上に ✕ アイコンが表示されます。✕ アイコンをタッチしてください。
同様に右上、左下、右下の順に ✕ アイコンもタッチしてください。
3. すべてのアイコンをタッチすると位置補正が完了し、撮影モードになります。

1.

2.

起動画面

DVS900FHDの起動画面を設定します。

1. 「 起動画面」を選択し、サブメニューを表示します。
2. 右または左ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押すか、
   アイコンをタッチして下記のいずれかを選択します。

   初期設定　　：工場出荷のKenkoロゴを表示します。

   ユーザー設定：任意の静止画を設定します。
3. ユーザー設定を選択すると静止画のサムネイル表示がされます。
   右または左ボタンを押して緑色の枠を移動して起動画面にする静止画を選択してOKボタンを押すか、
   静止画にタッチして決定します。
4. 次回の起動時より選択された起動画面になります。

◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

◆ 充電中の起動時には、起動画面が表示されません。

1.

2.

3.

デジタルズーム

P.25「ズーム撮影」をご覧ください。

静止画のプリント

静止画のプリント

本機はDPS（ダイレクトプリントシステム）機能を装備していません。
静止画のプリントは、付属のUSB-PC接続ケーブルでパソコンに接続またはSDカードリーダ（別売）を使用して
画像データをパソコンに取り込み、パソコンよりプリンターへ出力してください。
SDカードを直接プリンターに挿入（お使いのプリンターの取扱説明書をご覧ください。）してプリントができるプリンターもございます。
SDカードをカメラ店等に持参してプリントする方法もあります。

◆ プリント方法はカメラ店等にご相談ください。

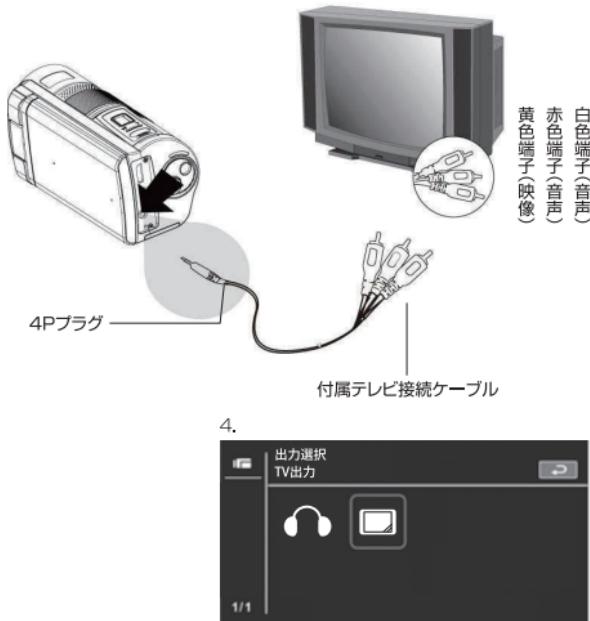
標準テレビとの接続

右図を参照して、付属のテレビ接続ケーブルを使用し、カメラをテレビに接続します。

1. テレビとカメラの電源をオンにします。
2. 付属のテレビ接続ケーブルの4Pプラグをカメラのav出力端子に接続します。
3. もう一方の黄色端子をテレビの映像入力端子に
   白色端子（左）、赤色端子（右）を音声入力端子に接続します。
4. カメラの液晶モニターに「出力選択」が表示されます。
   右または左ボタンを押して「 TV出力」を選択してOKボタンを押すか
   アイコンにタッチして決定します。

   ：イヤホン出力

   ：TV出力
5. テレビの入力切り替えをビデオ入力にセットします。
6. 動画/静止画を再生します。再生の手順は液晶モニター使用時と同様です。

4.

◆ テレビ入力端子の場所、使用方法は、お使いのテレビの取扱説明書でご確認ください。

◆ NTSC（日本国内）のテレビに「PAL」出力した場合、テレビ画面がパラパラ流れます。P. 78の「TV方式」をご覧ください。

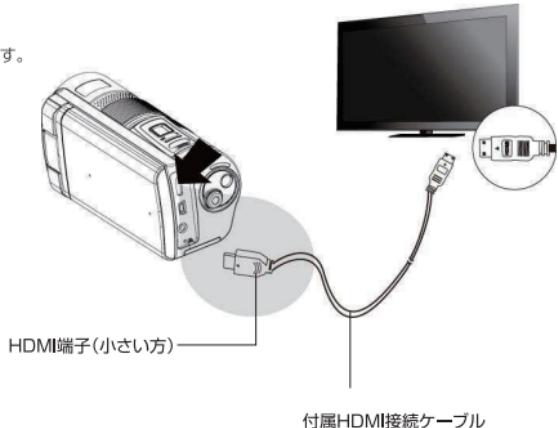
◆ HD画質で記録されたデータも、SD（標準）画質で再生されます。

◆ テレビと接続されている場合も動画撮影、静止画の撮影及びタッチパネルでの操作が可能です。

テレビとの接続

ハイビジョンテレビとの接続

ハイビジョンテレビに接続すると、動画や静止画を高解像度で表示することができます。
付属のHDMI接続ケーブルを使用し、右図を参照して、カメラとハイビジョンテレビを接続します。

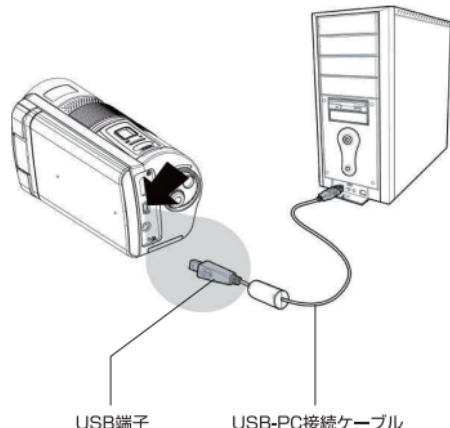
1. ハイビジョンテレビとカメラの電源をオンにします。
2. 付属のHDMI接続ケーブルのプラグ（小さい方）をカメラのHD端子に接続します。
   もう一方の端子（大きい方）をハイビジョンテレビのHDMI入力端子に接続します。
3. ハイビジョンテレビの入力モードを接続したHDMI入力にセットします。
4. 動画/静止画を再生します。再生の手順は液晶モニター使用時と同様です。

◆ ハイビジョンテレビの入力端子の場所、使用方法はお使いのハイビジョンテレビの取扱説明書をご確認ください。
◆ ハイビジョンテレビと接続されている場合も動画撮影、静止画の撮影及びタッチパネル操作が可能です。

パソコンとの接続

カメラとパソコンの接続

パソコンに接続する

右図を参考に付属のUSB-PC接続ケーブルを使用し、カメラとパソコンを接続します。

1. カメラとパソコンの電源をオンにします。
2. 付属のUSB-PC接続ケーブルの小さいUSB端子(ミニUSB)をカメラに接続します。
3. もう一方のUSB端子(大きい)をパソコンに接続します。
   カメラの液晶モニター表示は「USB接続中」になります。
   初めて接続した場合、パソコンのモニターに
   「デバイスドライバーソフトウェアをインストールしています」と小さく表示され、
   しばらくして「デバイスを使用する準備が出来ました」と小さく表示されます。
4. 「スタート」→「コンピュータ」→「リムーバブルディスク」
   →「DCIM」→「100MEDIA」の順にクリックします。
   「100MEDIA」に動画・静止画・音声メモのファイルがあります。

◆ USBハブや拡張USB ポートで接続した場合、カメラが認識されなかったり、エラーメッセージが表示されることがあります。
◆ USB-PC 接続ケーブルを外す場合は、各OSに適した安全な方法で行ってください。
◆ お使いのコンピューターのOS等により表示が異なる場合があります。

転送時のご注意

画像をパソコンに取り込む際には、以下の注意事項を必ず守ってください。

- [リムーバブルディスク]からコピーしている際(画像取り込み時)は、USB-PC接続ケーブル、SDメモリーカードを絶対に抜かないでください。
  内蔵メモリ、SDメモリーカードが破損する恐れがあります。
- [リムーバブルディスク]内にあるフォルダ及びファイルの名前を変更しないでください。
- [リムーバブルディスク]内にパソコンからデータなどをコピーしないでください。カメラの動作が不安定になる原因になります。
- [リムーバブルディスク]をパソコンでフォーマットしないでください。
- [DCIM]フォルダ内にあるファイルデータは、カメラ内に保存されているファイルデータを表示しています。
  このフォルダにあるデータを削除してしまうと、カメラ内の画像が消去されてしまいますのでご注意ください。

動画データの保存・再生

●保存する

撮影する画像をSD/SDHCメモリーカードに記録します。
動画の解像度等を変更せずに保存するには、記録されたSD/SDHCメモリーカードのまま保存してください。

●再生する

記録されたSD/SDHCメモリーカードをカメラにセットし、
付属のHDMI接続ケーブルでHD対応テレビに接続して再生します。P.91をご覧ください。

◆ SD/SDHCメモリーカードでの動画データの保存の他、動画データをパソコンのハードディスクに保存し、
再生する時にデータをSD/SDHCメモリーカードに戻して、カメラで再生する方法もあります。

◆撮影データのパソコンへの読み書きは、付属のUSB-PC接続ケーブルを使用する他に、
SD/SDHCメモリーカードリーダー・ライター(別売)でもできます。パソコン操作の初心者の方におすすめいたします。

付属のソフトウェア

付属のソフトウェアの説明

ArcSoft Total Media Extreme

ArcSoft Total Media Extremeは、動画再生と簡単な編集をするソフトウェアです。

PDF Reader

CD-ROM内の取扱説明書を読むソフトウェアです。

User Manual(取扱説明書)

13カ国語の取扱説明書がCD-ROMに保存されています。付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。
DVS900FHDは、出荷先(国·地域)により仕様·付属品等が異なります。
CD-ROMに保存されている取扱説明書は、英語版を元に作成されていますので本書と一部異なる記載があります。
あらかじめご了承ください。

◆ 付属のCD-ROM内の「ArcSoft Total Media Extreme」はバンドル版です。
製品版のすべての機能が使用できるわけではございません。あらかじめご了承ください。

ArcSoft Total Media Extremeをインストール

起動しているアプリケーションソフトウェアは全て終了してください。

1. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。
   自動的にインストール画面が立ち上がります。

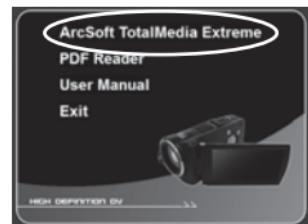
◆ 自動的にインストール画面が立ち上がらない場合は「デスクトップ」→「コンピュータ」の順にクリックして「CD-ROMドライブ」を開き、「Install CD」をダブルクリックしてください。

2. 「ArcSoft Total Media Extreme」をクリックします。
3. 「Total Media Extreme用のInstallShied Wizardへようこそ」が表示されます。
   「次へ」をクリックします。
4. 「使用許諾契約」が表示されます。
   内容を確認後、同意する場合は「はい」をクリックします。

次ページへ。

2.

3.

4.

5. ユーザー情報が表示されます。
「ユーザ名」「シリアル番号」を入力します。
シリアル番号はCD-ROMの袋に貼られたシールに記載されています。
アルファベットは全て大文字の半角で入力します。UとV、MとW等に注意して「ー(ハイフン)」も入力します。
6. 「インストール先の選択」が表示されます。
確認後、「次へ」をクリックします。
7. 「コンポーネントの選択」が表示されます。
確認後、「次へ」をクリックします。
8. 「プログラムフォルダの選択」が表示されます。
確認後、「次へ」をクリックします。
インストールが開始されます。
9. 「InstallShied Wizardの完了」が表示されます。
「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」のチェックを確認して
「完了」をクリックします。
パソコンは自動的に再起動してソフトウェアを有効にします。
10. デスクトップに「Total Media Extreme 2」のアイコンが追加されます。

5.

6.

7.

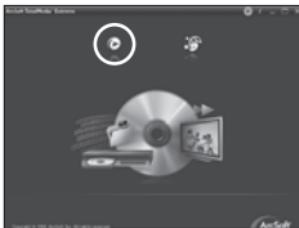
8.

9.

Total Media Extremeの使用方法

〈動画を再生する場合〉

1. パソコンのモニターに表示された アイコンを ダブルクリックします。
2. 「Total Media Extreme 2」が立ち上がります。
3. アイコンをダブルクリックします。 Total Media Theatre 3が立ち上がります。
4. 「　　ソースの選択」をクリックしてファイルを取り込みます。 「再生」をクリックします。

2.

4.

◆ 使用方法はソフトウェアのヘルプ(Total Media Theatre 3のウィンドウ上で右クリック)をご覧ください。

〈動画ファイルを編集する場合〉

1. アイコンをクリックします。
2. 「ArcSoft Total Media ShowBiz」が表示されます。
3. 編集するファイルをドラッグ アンド ドロップします。
4. 例えば2つのファイルを接続する場合は、ドラックアンドドロップ後に 「作成」→「ファイルの作成」をクリックすると開始されます。

1.

◆ 使用方法はソフトウェアのヘルプ(?をクリック)をご覧ください。

2.

3.

付属のソフトウェア

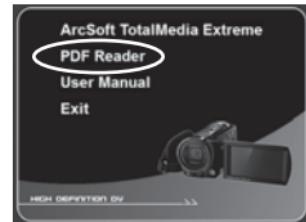
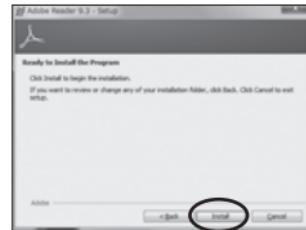
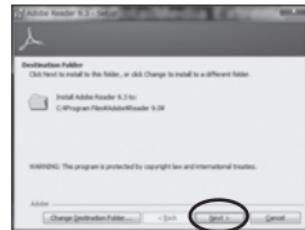
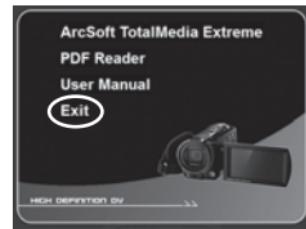
PDF Readerをインストール

お使いのパソコンに既にAdobe Readerがインストールされている場合はインストールは不要です。

1. 「PDF Reader」をクリックします。
   インストールの準備が始まります。
2. 「Destination Folder（インストール先）」が表示されます。
   確認後、「Next（次へ）」をクリックします。
3. 「Ready to Install Program（インストールの準備ができました）」が表示されます。
   「Install（インストール）」をクリックします。
   インストールが開始されます。
4. 「Setup Completed（完了）」が表示されます。
   「Finish（終了）」をクリックします。
5. 「Exit（出口）」をクリックしてからパソコンを再起動します。
6. デスクトップに「Adobe Reader 9」のアイコンが追加されます。

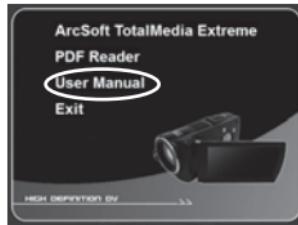
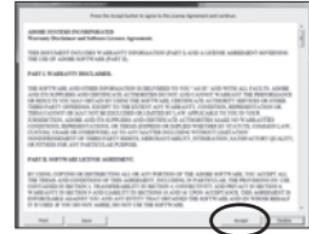
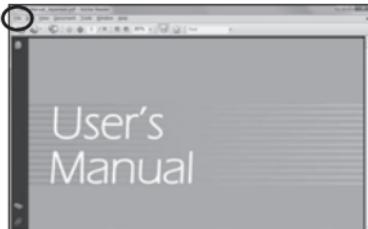
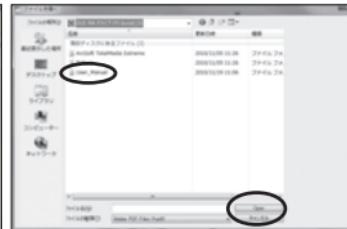
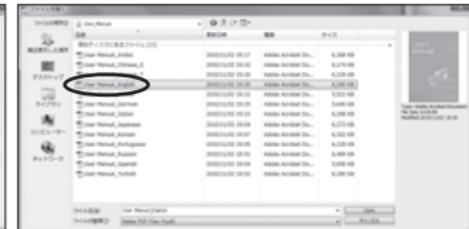
1.

2.

3.

5.

◆ CD-ROMのPDF Reader（Adobe Reader）は、
英文でのインストールです。
Adobe社のホームページから日本語でインストールできます。
http://www.adobe.com./jp/?ogn=JP-gn_home_logo-jp
ダウンロードは無料ですが、インターネットへの接続環境が必要になります。インターネットへの接続料等は、お客様の負担となりますので、あらかじめご了承ください。

User Manual(取扱説明書)を使用する

1. 「User Manual」をクリックします。
2. 初めて使用する時には、
   「Adobe Reader License Agreement(ライセンス認証)」が表示されます。
   内容を確認後、同意する場合は「Accept(承認する)」をクリックします。
3. 「File(ファイル)」→「Open(開く)」の順にクリックします。
   「CDドライブ」を開きます。
4. 「User Manual」をダブルクリックすると13ヶ国語の取扱説明書の
   ファイルが表示されます。
5. 例えば「English」をダブルクリックすると英語の取扱説明書が表示されます。

1.

2.

3.

4.

5.

◆ 出荷先(国・地域)により仕様等が異なります。従いまして取扱説明書の説明範囲内容の一部が日本版と異なります。あらかじめご了承ください。

トラブルシューティング

「故障かな?」と思ったらもう一度確認、点検してください。

カメラ操作時のトラブル

症状	原因	対策
電源が入らない。	電池の残量がないのでは?	充電池を充電してください。(P.11参照)
	電池が正しくセットされていないのでは?	充電池の向きを確認して、正しい方向にセットしてください。(P.12参照)
カメラの電源が突然切れる。	電源の自動電源オフ機能が作動したのでは?	電源ボタンを押して、再度電源をオンにしてください。(P.14、83参照)
	電池の残量がないのでは?	充電池を充電してください。(P.11参照)
画像が保存されない。	画像が保存される前に電池やSDカードを取り外したのでは?	画像が保存される前に電池やSDカードを取り外さないでください。(P.17、18参照)
セルフタイマーを使用中に電源が切れる。	電池の残量がないのでは?	充電池を充電してください。(P.11参照)
SDメモリーカードが使用できない。	SDメモリーカードがロックされているのでは?	SDメモリーカードに付いている“ライトプロテクトスイッチ”がロックされていると、データの記録･消去を行うことができません。ロックを解除してください。(P.18参照)
	SDメモリーカードに、他のカメラで撮影した画像が含まれているのでは?	SDメモリーカードを本製品でフォーマットしてください。(P.19参照)
すべてのボタンが作動しない。	ソフトウェアおよびハードウェアが何らかの刺激等を受けたのでは?	電池をカメラから取り外し、入れ直してください。(P.12参照)

記録可能時間／枚数の目安

SD/SDHCメモリカード

動画（画質：ファイン）

動画サイズ	SDメモリーカード	SDHCメモリーカード		
	2GB	4GB	8GB	16GB
FHD 30fps	25分34秒	51分21秒	1時間47分12秒	3時間28分34秒
HD 60fhd	28分25秒	57分03秒	1時間59分06秒	3時間51分44秒
HD 30fps	42分38秒	1時間25分35秒	2時間58分40秒	5時間47分36秒

静止画（画質：スーパーファイン）

静止画サイズ	SDメモリーカード	SDHCメモリーカード	
	2GB	4GB	8GB
10M	637枚	1280枚	2573枚
5M	1249枚	2507枚	4012枚
3M	1998枚	5039枚	8063枚

◆ 撮影の状況・被写体によって記録されるファイルサイズが一定ではないため、記録可能時間／枚数に差が出ます。上記表は目安としてご参考ください。
◆ 記録可能時間／枚数に達する前に電池がなくなる場合がございます。

仕様

イメージセンサー	1/2.3型　CMOS
総画素数	1065万画素
有効画素数	約1000万画素（静止画時）
内蔵メモリー	32MB（ユーザー使用可能領域なし）
外部メモリー	SDメモリーカード　：32MB～2GBまで SDHCメモリーカード：4GB～32GBまで
レンズ	f = 6～60mm
撮影距離	標準　：約0.1m ～ ∞（W） 約1m ～ ∞（T） マクロ：約10cm（W）静止画専用
ファイル形式	静止画:JPEG　動画:H.264（MOV）
動画	サイズ：FHD　（1920×1080 30fps） HD　（1280×720　60fps） HD　（1280×720　30fps） WVGA　（848×480　60fps） WQVGA（432×240　240fps）
静止画	サイズ:3M、5M、10M
ズーム	光学ズーム10倍 デジタルズーム 静止画60倍（最大）、動画100倍（最大）
液晶モニター	3.5型 TFTタッチパネル
音声形式	ADPCM
セルフタイマー	オフ、2秒、10秒
テレビ出力	NTSC、PAL、HDMI
シャッタースピード	静止画　1/8000～1/2秒
内蔵フラッシュ	有効範囲:約1.0m～1.5 m（W）、1.0m～1.5m（T）
ホワイトバランス	自動、太陽光、曇り、白熱灯、蛍光灯
露出補正	±2.0EV（1/3EVステップ）
電源	リチウムイオン充電池
出入力ポート	USB 2.0、HD出力端子
寸法	約54X59X123mm
重量	約331g（付属品、電池を含まず。ハンドストラップを含みます。）

■ 同梱品

カメラ本体、CD-ROM、ACアダプター、USB-PC接続ケーブル
HDMI接続ケーブル、テレビ接続ケーブル、ポーチ、リチウムイオン充電池
レンズキャップ、取扱説明書

仕様

パソコンの動作環境

以下の条件を満たすパソコンが必要となります。

●下記OSがプリインストールされたパソコン　●USBインターフェース(2.0以上)を標準装備したパソコン

Windows対応OS	
XP(SP2) ／ Vista(32bit)／7(32bit/64bit)	
CPU	Intel Pentium Core 2 1.8GHz以上
メモリ	1GB以上
ハードディスクの空き容量	110MB以上
ドライブ	CD-ROMドライブ必須
ビデオカード	RAM 64MB以上
インターフェース	USB 2.0

動作保証について

●動作環境を満たすPC中でも、一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

●Windows OSをアップグレードしたパソコンでは動作保証いたしません。

●USBハブや拡張USBボードに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコンについては動作保証いたしません。

●Mac OS 10.0以降では動作いたしますがサポート外となります。
あらかじめご了承ください。

保　証　規　定

（1）修理の際は必ず　保証書を添付のうえ、ご購入店または最寄りの当社営業所または出張所までお申し付けください。

（2）　保証書の添付なき場合は有料修理となります。

（3）正常な取り扱い中に故障を生じた場合以外は有料修理となります。
（下記①～⑥など）
①取扱いの乱用、使用法の誤りによる故障
②保存上の不備のため湿度などによって生じた故障
③火災や浸水・天災によって生じた故障
④当社以外の場所にての修理・改造・分解による故障
⑤その他類似的起因による故障
⑥消耗品（電池、フラッシュ発光管等）のお取り替え

（4）ご購入年月日・ご購入店名のなきものは無効です。

（5）保証書は紛失されても再発行は致しませんので大切に保管してください。

（6）修理品に送料が掛かった場合はお客様にてご負担願います。

（7）当社製品を使用して付随製品が故障した際の保証は致しません。

（8）出張による点検・修理・取扱説明・設定等には無償・有償を問わず対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。

（9）　保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in japan.

（10）　保証書は保証規定により無償修理を約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

[お願い]
修理に関しましては修理箇所、内容を明確にご指示ください。

■個人情報について

※　保証書を通じてお客様からご提供いただいた個人情報を、修理完了後、速やかに廃棄いたします。

※ご協力いただきました記入事項につきましては、ご提供いただきました個人情報のうち、年齢・性別等個人を識別、あるいは特定できない情報と関連付け、統計的データに加工して利用する場合があります。

※当社は、お客様の個人情報を第三者へ開示いたしません。但し、以下の場合を除きます。

●お客様の承諾を得た場合。

●お客様の明示した利用目的の達成に必要な範囲内において、業務委託先に個人情報を開示する場合。但し、この場合に当社は、法令上、個人情報の安全管理が図られるよう、当該業務委託先に対して必要かつ適切な監督義務を負います。